

第104回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 プログラム



会 長：防衛医科大学校 光学医療診療部 教授 永 尾 重 昭

会 場：シェーンバッハ・サポー

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

TEL：03-3261-8386

会 期：2017年（平成29年）6月10日（土）・11日（日）

運 営 事 務 局

防衛医科大学校 光学医療診療部

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

TEL : 04-2995-1211

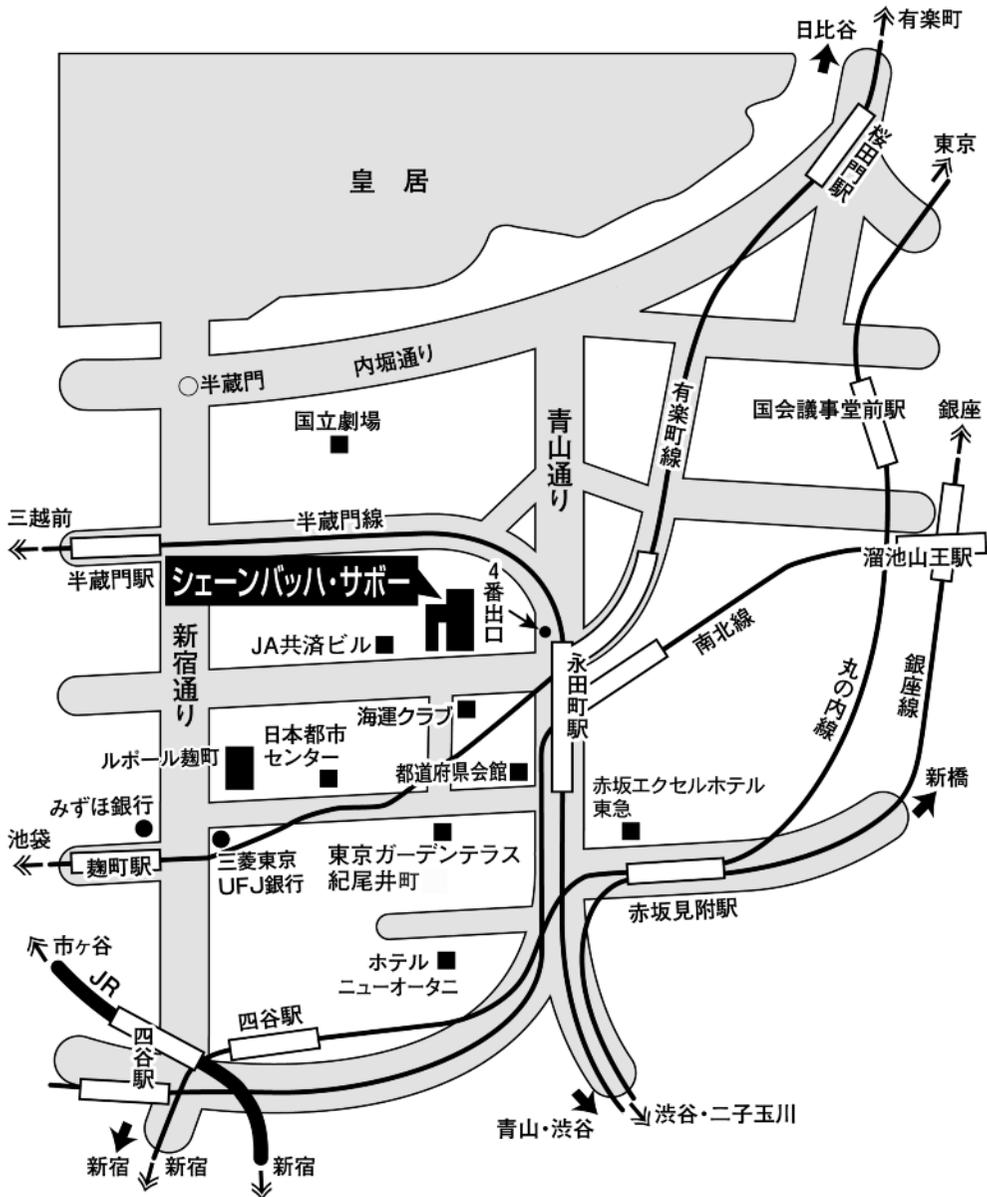
学会ホームページ <http://www.jges-k.umin.jp/>

第104回日本消化器内視鏡学会関東支部例会

プログラム委員 (敬称略、五十音順)

顧問	上西 紀夫	公立昭和病院
	河合 隆	東京医科大学 消化器内視鏡学
	熊谷 一秀	あそか病院
	國分 茂博	新百合ヶ丘総合病院 内視鏡センター
	田尻 久雄	東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座
	三浦 総一郎	前 防衛医科大学校
	門馬 久美子	がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科
委員	五十嵐 良典	東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
	糸井 隆夫	東京医科大学 消化器内科
	井上 晴洋	昭和大学江東豊洲病院 消化器センター
	今枝 博之	埼玉医科大学病院 消化管内科
	岩男 泰	慶應義塾大学病院 予防医療センター
	岡 政志	埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科
	川口 淳	公立昭和病院 予防・健診センター
	後藤 田卓志	日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野
	斎藤 豊	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科
	炭山 和毅	東京慈恵会医科大学 内視鏡科
	田邊 聡	北里大学医学部新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門 低侵襲光学治療学
	露口 利夫	千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学
	比企 直樹	がん研究会有明病院 消化器センター 外科
	藤城 光弘	東京大学医学部附属病院 光学医療診療部
	松本 健史	順天堂大学医学部 消化器内科学講座
	溝上 裕士	筑波大学附属病院 光学医療診療部
	矢作 直久	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門
	山本 博徳	自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門
	横山 薫	北里大学医学部 消化器内科学

交通案内図



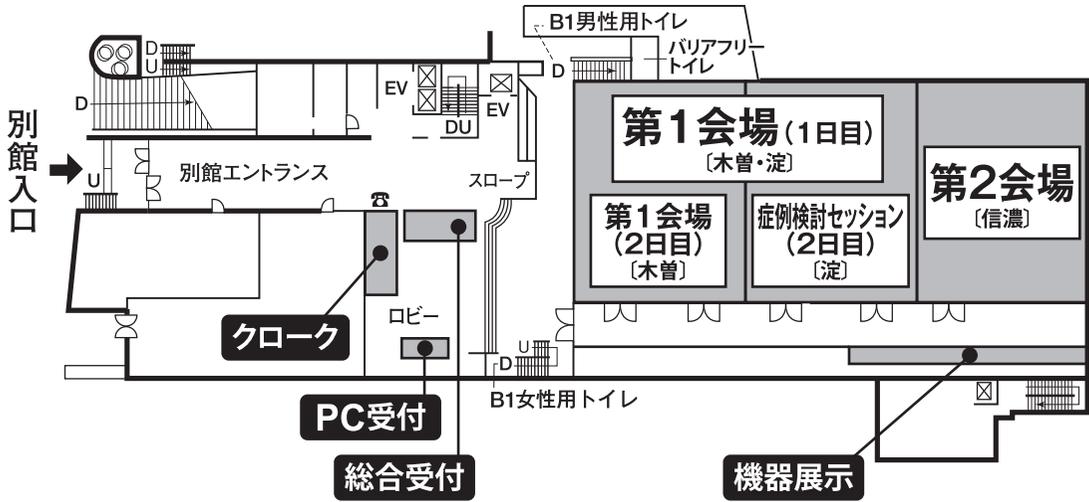
■交通のご案内

- 東京メトロ 麹町駅(有楽町線)半蔵門方面出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(有楽町線)〈半蔵門線〉4番・5番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(南北線)9番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 赤坂見附駅(銀座線)〈丸の内線〉より徒歩約8分
- J R 四ッ谷駅 麹町出口より徒歩約14分
- 都 バ ス 都市センター前(新橋駅⇔市ヶ谷駅⇔大久保駅)

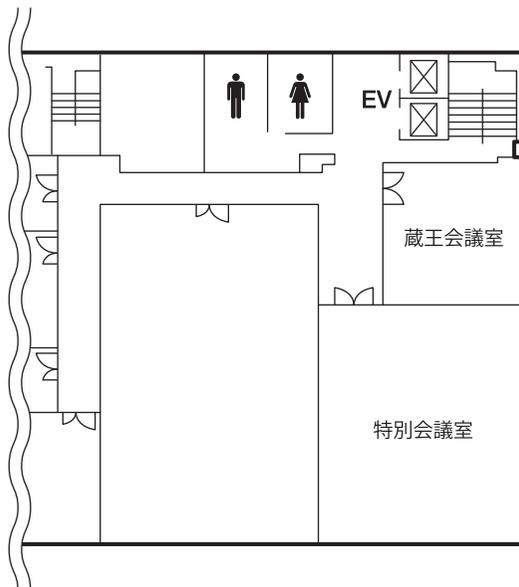
会場案内図

シェーンバッハ・サポー

■ 1階

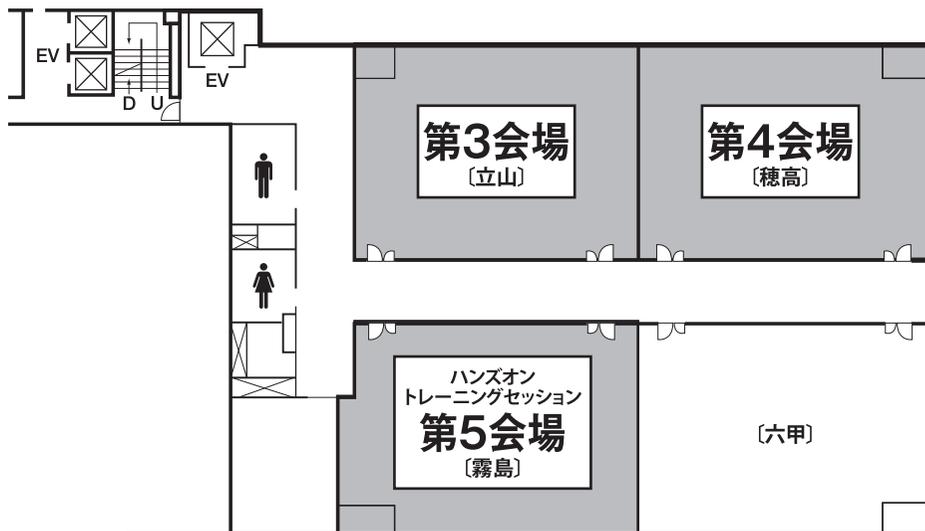


■ 2階



会場案内図

■ 3階



会員と演者へのお知らせ

I 参加登録

1. 参加費として医師・一般の方は5,000円を参加受付でお支払いください。
初期研修医の方は、1,000円を参加受付でお支払いください。
医学部生は無料（当日受付にて学生書の提示を行ってください）
参加費お支払後、ネームカードをお渡ししますので、所属・氏名をご記入の上、会場内は常時ご着用いただくようお願いいたします。
2. クレジットカードは使用できません。
3. 演者（共同演者を含む）は、日本消化器内視鏡学会の会員に限ります。
4. 抄録集をご希望の方は受付にて1,000円で販売いたします。
5. 参加受付は、8:30より以下の場所で行います。
6月10日（土）、11日（日） シェーンバッハ・サポー 1階ロビー

II 出席単位登録について

1. 日本消化器内視鏡学会ホームページより大会の出席単位登録をすることが可能です。
大会No.10桁の後に参加登録証の左上のNo.を入れた16桁の番号をご登録ください。専門医、指導医の申請・更新時に必要になります。
詳しくは、日本消化器内視鏡学会ホームページをご参照ください。
URL <http://www.jges.net/>
2. 取得できる単位数
出席・5単位 / 筆頭演者・3単位 / 共同演者・2単位
※ 大会No.は大会終了後、日本消化器内視鏡学会ホームページの会員専用コーナーに表示する予定です。
※ オンラインによる出席単位登録をされない方は本カードが資格申請・更新に必要なになります。

III 発表に関する注意

発表は、コンピュータープレゼンテーションとなります。

以下の要領に従ってご準備ください。

- 1) 一般演題の発表時間は5分、討論時間は3分です。研修医・専修医セッションの発表時間は5分、討論時間は2分です。シンポジウム、パネルディスカッション、ワーク

シヨップの発表時間は、演者へ個別に連絡いたします。必ず時間厳守でお願いいたします。

- 2) 発表データは、原則としてUSBフラッシュメモリーで提出をお願いいたします。バックアップ用としてPC本体をご持参いただければ万全です。
 - ・データは主催者側で一旦コピーいたしますが、学会終了後、責任を持って消去いたします。
 - ・動画の使用は可能ですが、使用するソフトはWindows Media Playerで再生可能な形式に限ります。
- 3) 発表データは発表の1時間前(早朝の場合は30分前)までに、PC受付で動作確認の上、提出してください。
- 4) 会場で使用するPCは以下の仕様となっております。
 - ① OS : Windows 7
 - ※Macintoshでデータを作成された場合は、PC本体をご持参ください。
 - ② アプリケーション : Microsoft PowerPoint 2007, 2010, 2013
 - ※スライド作成時の注意
 - スライド作成時の画面サイズはXGA (1024×768) をご確認の上、作成してください。
 - PowerPoint画面のメニューにて「スライドショー」→「解像度」で設定できます。
 - なおフォントは文字化けを防ぐため、以下のフォントを推奨いたします。
 - ① 日本語 : MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
 - ② 英語 : Century、Century Gothic
- 5) PC本体でご発表の際、会場での接続コネクタはMiniD-sub 15pinタイプです。一部の機種で変換コネクタがないと接続出来ない機種があります。変換コネクタが必要な機種をご使用の場合は、ご自身で必ずご持参ください。また、バッテリー切れに備えて、ACアダプタをご自身で必ずご持参ください。
- 6) 演者は前の演者の口演開始後、速やかに次演者席についてお待ちください。
- 7) 司会・座長の先生は、担当セッションの開始10分前までに、次座長席にお越しくください。会の進行上、時間厳守でお願いいたします。
- 8) 発表にあたっては本学会用語集を参照し適切な用語を用いてください。(適切な用語を用いることは発表者の責務です)

IV 利益相反 (COI) 状態開示のお願い

日本消化器内視鏡学会では、すべての臨床研究に係る産学連携活動において、個人が深く関与することに関連し生じる利益相反 (conflict of interest : COI) 状態を組織として適切に管理する必要性から、本学会における『臨床研究の利益相反に関する指針及び細則』を規定しております。関東支部においてもこの指針および細則が適用されます。

つきましては、発表・講演の際には、過去1年間におけるCOI状態を自己申告して頂きます。関東支部ホームページ (<http://www.jges-k.umin.jp/coi/>) で、申告事項および基準をご確認の上、所定書式をダウンロードしてお使いください。

・申告すべきCOI状態が「有る」場合

様式1-A

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○、○○ ○○、…(◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業等として

①顧問:	例: なし or あり(●●製薬)
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	あり(●●製薬)
⑦奨学寄付金:	あり(●●製薬)
⑧寄附講座所属:	あり(●●製薬)
⑨研究とは直接無関係なものの提供:	なし

・申告すべきCOI状態が「無い」場合

様式1-B

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○、○○ ○○、…(◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある 企業などはありません。

* 申告書提出先

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

日本消化器内視鏡学会関東支部 COI係 行き

E-mail : jgeskanto@nifty.com

(E-mail提出の場合は、署名・捺印したものをpdfまたはjpgのファイルにして、E-mailの件名を「COI自己申告」としてお送りください。)

V 機器展示

シェーンバッハ・サボアの1階にて開催しております。

VI ランチョンセミナー

整理券方式は採用いたしませんので、予めご了承ください。

VII 症例検討セッション

6月11日（日）に症例検討セッション会場（シェーンバッハ・サボア 1階「淀」）にて、アンサーパッドを使用したセッションを実施いたします。アンサーパッドは会場入口にて配布いたしますが、数に限りがございますことをご了承ください。

VIII 表彰式

6月10日（土）17：15～ 第1会場（シェーンバッハ・サボア 1階「木曾・淀」）において研修医・専修医セッション表彰式を行います。

研修医（初期研修医）および専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演題を選出し表彰いたします。受賞者には奨励金として3万円を贈呈いたします。

また、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します）

第 1 日 平成 29 年 6 月 10 日 (土)

	第 1 会場 1F【木曾・淀】	第 2 会場 1F【信濃】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	開会の辞(9:05~9:10)				
10:00	9:10~11:50 シンポジウム1 「内視鏡観察の 現状と近未来」	9:10~11:20 パネルディスカッション1 「より安全、確実な 内視鏡のリスク マネージメントの実際」	9:10~9:45 専修医セッション 食道・胃 (1~5)	9:10~9:45 専修医セッション 大腸 (30~34)	9:00~12:00 ハンズオン トレーニング セッション 胃 (ESD) コース
11:00			9:45~10:20 専修医セッション 胃1 (6~10)	9:45~10:13 専修医セッション 胆膵・十二指腸 (35~38)	
12:00		11:20~12:00 トピックスレクチャー1 あすか製薬株式会社	10:20~10:55 専修医セッション 胃2 (11~15)	10:13~10:48 専修医セッション 胆膵・その他 (39~43)	
13:00	12:10~13:10 ランチョンセミナー1 武田薬品工業株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー2 日本イーライリリー株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー3 富士フィルムメディカル株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー4 デンカ生研株式会社	
14:00	13:20~16:00 ワークショップ1 「緊急診療における 内視鏡診断と 治療の現状」	13:20~16:00 パネルディスカッション2 「挿入困難例に 対する工夫 —大腸、術後腸管、 胆膵領域—」	13:20~13:55 専修医セッション 胃3 (16~20)	13:20~13:48 研修医セッション 胃・食道 (44~47)	13:30~15:30 ハンズオン トレーニング セッション 食道 (ESD) コース
15:00			13:55~14:30 専修医セッション 胃4 (21~25)	13:48~14:16 研修医セッション 胃・小腸・大腸 (48~51)	
16:00			14:30~14:58 専修医セッション 胃・十二指腸 (26~29)	14:16~14:44 研修医セッション 大腸1 (52~55)	
17:00	16:10~17:10 特別講演			14:44~15:12 研修医セッション 胆膵 (56~59)	
18:00	研修医・専修医セッション表彰式				
19:00	17:30~18:10 評議員会				
20:00	18:30~20:00 サテライトセミナー オリンパスメディカル サイエンス販売株式会社	18:30~20:00 評議員懇親会 (海運クラブ)			

第 2 日 平成 29 年 6 月 11 日 (日)

	第 1 会場 1F【木曽】	第 2 会場 1F【信濃】	症例検討セッション会場 1F【澁】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	9:00~11:50 シンポジウム2 「動画でみるより安全で 確実な治療内視鏡 -我々の工夫、トラブル シューティング、我々の 教育法など」	9:00~11:10 ワークショップ2 「消化管腫瘍内視鏡治療に 対する外科・内科 -診療科をまたいだ 協調診療-」	9:00~10:30 症例検討セッション 食道・胃 ※アンサーパッド形式	9:10~9:42 一般演題 胆腑1 (60~63)	9:10~9:42 一般演題 胃1 (86~89)	9:00~12:00 ハンズオン トレーニング セッション EUS, EUS-FNAコース
10:00				9:42~10:14 一般演題 胆腑2 (64~67)	9:42~10:14 一般演題 胃2 (90~93)	
11:00	10:14~10:38 一般演題 胆腑3 (68~70)	10:14~11:02 一般演題 胃3 (94~99)	10:38~11:10 一般演題 食道1 (71~74)	11:02~11:34 一般演題 十二指腸 (100~103)		
12:00	11:20~12:00 トピックスレクチャー2 富士フィルムメディカル株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー6 EAファーマ株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー7 コガイディエン・ジャパン株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー8 アストラゼネカ株式会社/ 第一三共株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー9 カイゲンファーマ株式会社	
13:00	12:10~13:10 ランチョンセミナー5 大鵬薬品工業株式会社	13:20~16:00 ワークショップ3 「膵胆道疾患に対する、 より低侵襲内視鏡治療 の現状は」	13:20~14:50 症例検討セッション 大腸 ※アンサーパッド形式	13:20~13:44 一般演題 食道2 (75~77)	13:20~13:44 一般演題 小腸 (104~106)	
14:00	13:20~16:00 ワークショップ3 「膵胆道疾患に対する、 より低侵襲内視鏡治療 の現状は」	13:20~16:00 パネルディスカッション3 「消化管癌内視鏡 スクリーニング、 検診の現況」	14:50~16:20 症例検討セッション 胆・膵 ※アンサーパッド形式	13:44~14:16 一般演題 大腸1 (78~81)	13:44~14:24 一般演題 大腸3 (107~111)	
15:00			閉会の辞	14:16~14:48 一般演題 大腸2 (82~85)	14:24~15:04 一般演題 大腸4 (112~116)	
16:00						
17:00						
18:00						
19:00						

特別講演 6/10 (土) 第 1 会場 16:10~17:10

司会 防衛医科大学校 光学医療診療部 永尾 重昭

宿主 - 腸内細菌相互作用

理化学研究所 統合生命医科学研究センター (IMS) 粘膜システム研究グループ

大野 博司

シンポジウム1 6/10(土) 第1会場 9:10~11:50

「内視鏡観察の現状と近未来」

司会 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋
東京慈恵会医科大学 内視鏡科 炭山 和毅

S1-01. GERD診療における新たな機能内視鏡検査法 –EPISIS (Endoscopic pressure study integrated system)–

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○大南 雅揮, 角 一弥, 立田 哲也
池淵雄一郎, 井上 晴洋

S1-02. 消化管がんに対する治療効果予測バイオマーカーとしての酸素飽和度イメージングの応用

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 ○矢野 友規, 大野 康寛, 門田 智裕
依田 雄介, 池松 弘朗

S1-03. 胃ESD術前の範囲診断における画像強調観察の有用性

防衛医科大学校病院 内科学²⁾ ○伊東 傑¹⁾, 西井 慎¹⁾, 溝口 明範¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 古橋 廣崇¹⁾, 永尾 重昭²⁾

S1-04. 新規開発された3D内視鏡による病変認識精度の検討

虎の門病院 消化器内科 ○野村 浩介, 菊池 大輔, 飯塚 敏郎
布袋屋 修, 貝瀬 満

S1-05. 胃・大腸腫瘍に対するプローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡(pCLE)の診断能に関する検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○田中 優作¹⁾, 阿部清一郎¹⁾, 大野 康寛²⁾
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科²⁾ 斎藤 豊¹⁾

S1-06. 共焦点内視鏡による十二指腸上皮性腫瘍(十二指腸乳頭部腫瘍も含む)におけるABC-C分類の妥当性の検討

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科¹⁾ ○野中 康一¹⁾, 伴 慎一²⁾, 谷坂 優樹¹⁾
獨協医科大学越谷病院 病理診断科²⁾ 真下 由美¹⁾, 良沢 昭銘¹⁾

S1-07. 共焦点内視鏡を用いたHirschsprung病における腸管神経叢の観察

東京慈恵会医科大学 内視鏡科¹⁾ ○小林 雅邦¹⁾, 下島 直樹^{2, 3)}, 藤ヶ崎純子⁴⁾
東京都立小児総合医療センター 外科²⁾ 樺 俊介¹⁾, 炭山 和毅¹⁾
慶應義塾大学 小児外科³⁾
東京都健康長寿医療センター 神経病理⁴⁾

S1-08. 大腸浸潤癌に対するコンピューター自動診断システムの診断性能に関する検討

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター¹⁾ ○武田 健一¹⁾, 工藤 進英¹⁾, 森 悠一¹⁾
昭和大学江東豊洲病院 消化器センター²⁾ 三澤 将史¹⁾, 井上 晴洋²⁾

S1-09. 観察条件不良例に対するGel immersion endoscopyを用いた観察法

自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 ○矢野 智則, 福田 久, 岡田 昌浩
井野 裕治, 竹澤 敬人

シンポジウム2 6/11(日) 第1会場 9:00~11:50

「動画でみるより安全で確実な治療内視鏡 —我々の工夫、トラブルシューティング、我々の教育法など」

司会 日本大学医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野 後藤田卓志
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 斎藤 豊

S2-01. 食道ESDにおけるTraction Assisted Colonic-ESD(TAC法)を応用した糸付きクリップ牽引法の有効性

千葉県がんセンター 消化器内科¹⁾ ○高城 秀幸¹⁾, 鈴木 拓人²⁾, 北川 善康²⁾
同 内視鏡科²⁾ 原 太郎³⁾, 山口 武人¹⁾
原診療所³⁾

S2-02. 胃ESDにおけるForced凝固超低出力設定を用いたKnife coagulated cutの実際

深谷赤十字病院 消化器科 ○葛西 豊高, 川辺 晃一, 宮原 庸介
福田 裕昭, 江藤 宏幸

S2-03. 十二指腸ESD後の「糸付きクリップ縫縮法」：前向き臨床研究

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 低侵襲治療開発部門¹⁾ ○西澤 俊宏¹⁾, 浦岡 俊夫^{1, 2)}, 飽本 哲兵¹⁾
国立病院機構東京医療センター 消化器科²⁾ 光永 豊¹⁾, 矢作 直久¹⁾

S2-04. スネア先端刺入法大腸EMRの有用性の検討

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 ○小澤俊一郎, 安田 宏, 佐藤 義典
松尾 康正, 伊東 文生

S2-05. 大腸ipポリープに対するバイポーラ装置によるEMRの試み

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 ○佐藤 大幹, 中村 弘, 池松 弘朗

S2-06. 30mm以下の大腸腫瘍に対するHybrid ESDの妥当性

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○村元 喬, 大圃 研, 瀧田麻衣子
酒井 英嗣, 松橋 信行

S2-07. 当院におけるプロトタイプスコープの試用実績

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 ○市島 諒二, 高丸 博之, 斎藤 豊

S2-08. ポケット形成法最終局面ではフックナイフの併用が効果的である

JCHO群馬中央病院 消化器内科 ○岸 遂忠

S2-09. 盲腸病変に対するS-O clipの有効性

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター ○石垣 智之, 工藤 進英, 林 武雅
桜井 達也, 石田 文生

S2-10. 滑車式dental floss clip法を用いたESDが有効であった盲腸3病変

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 ○池原 久朝, 林 香里, 草野 央
後藤田卓志, 森山 光彦

S2-11. 大腸腫瘍に対するunderwater ESDの有用性

湘南藤沢徳洲会病院 肝胆膵消化器病センター ○永田 充

パネルディスカッション 1 6/10 (土) 第 2 会場 9:10~11:20

「より安全、確実な内視鏡のリスクマネジメントの実際」

司会 埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝 博之
東京医科大学 消化器内科 糸井 隆夫

PD1-01. 当院の消化器内視鏡検査安全管理体制についての検証

東京女子医科大学 消化器内視鏡科¹⁾ ○岸野真衣子¹⁾, 大森 鉄平²⁾, 高山 敬子²⁾
同 消化器内科²⁾ 中村 真一¹⁾, 徳重 克年²⁾

PD1-02. 内視鏡室におけるアクシデント・インシデント報告からみたリスクマネジメント

日本大学医学部 消化器肝臓内科 ○草野 央, 後藤田卓志, 池原 久朝
高橋 利実

PD1-03. より安全、確実な内視鏡診療をめざした当内視鏡センターの取り組み

NTT東日本関東病院 消化器内科¹⁾ ○瀧田麻衣子¹⁾, 大圃 研¹⁾, 松橋 信行¹⁾
同 看護部²⁾ 越野 恭子²⁾

PD1-04. 当院内視鏡センターにおけるリスクマネジメントの工夫

埼玉医科大学 総合診療内科¹⁾ ○芦谷 啓吾¹⁾, 藤井 庸平¹⁾, 中尾 将光²⁾
同 消化管内科²⁾ 都築 義和²⁾, 今枝 博之²⁾

PD1-05. 抗凝固剤服用下における大腸腫瘍の内視鏡治療の安全性についての検討

医療法人社団曙光会 石くほ医院 ○石窪 力

PD1-06. 抗血栓薬服用者に対する内視鏡的乳頭括約筋切開術の現状

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門 ○山宮 知, 北村 勝哉, 石井 優
吉田 仁

PD1-07. 胆膵内視鏡中のバイタル変化に対するリスクマネジメント

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○岩崎 栄典¹⁾, 福原誠一郎²⁾, 金井 孝典¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 緒方 晴彦²⁾

PD1-08. ガイドワイヤー誘導処置具を用いたより安全、確実な胆膵治療内視鏡のリスクマネジメント

東京医科大学病院 消化器内科 ○本定 三季, 祖父尼 淳, 土屋 貴愛
辻 修二郎, 糸井 隆夫

PD1-09. 緊急ERCP関連手技における安全な腸管蠕動抑制薬の選択についての検討

杏林大学医学部 第三内科 ○土岐 真朗, 倉田 勇, 渡邊 俊介
高橋 信一, 久松 理一

パネルディスカッション2 6/10 (土) 第2会場 13:20~16:00

「挿入困難例に対する工夫 —大腸、術後腸管、胆膵領域—」

司会 自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 山本 博徳
埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢 昭銘

PD2-01. 大腸ESDにおけるDBEの有用性

真木病院 内視鏡内科¹⁾ ○和田 正浩^{1, 2)}, 三浦 義正³⁾
同 消化器内科²⁾
自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門³⁾

PD2-02. 高齢者における大腸挿入困難例に対する受動湾曲型内視鏡の有用性

東京都健康長寿医療センター 消化器内科¹⁾ ○武村 拓也¹⁾, 西村 誠²⁾, 藤井 悠子¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 松川 美保²⁾, 上垣佐登子¹⁾

PD2-03. 術後再建腸管を有する胆膵疾患に対する内視鏡アプローチ 当院の現状と課題

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 ○関根 匡成, 眞嶋 浩聡, 松本 吏弘
浅部 伸一, 宮谷 博幸

PD2-04. BII再建症例におけるERCP時の内視鏡選択の検討

亀田総合病院 消化器内科 ○吉村 茂修, 小林 正佳, 白鳥 俊康
中路 聡, 平田 信人

PD2-05. 腸管再建が行われた胆膵疾患患者に対するダブルバルーン内視鏡EI-580BTの挿入性に関する検討

東京大学 消化器内科 ○山田 篤生, 木暮 宏史, 伊佐山浩通
小池 和彦

PD2-06. バルーン式小腸鏡を用いた術後再建腸管に対するERCPでの挿入困難例に対する工夫

北里大学医学部 消化器内科学 ○宮田 英治, 山内 浩史, 木田 光広
小泉和二郎

PD2-07. 術後再建腸管症例におけるShort-SBEを用いたERCP関連手技の検討

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 ○谷坂 優樹, 良沢 昭銘, 原田 舞子
小畑 力, 小林 正典

PD2-08. 術後腸管再建例における胆膵内視鏡治療の現状—short-SBEの有用性について—

千葉県がんセンター 消化器内科 ○喜多絵美里, 辻本 彰子, 須藤研太郎
中村 和貴, 山口 武人

PD2-09. Water exchange methodを用いたダブルバルーン内視鏡下ERCP

自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門 ○横山 健介, 矢野 智則, 牛尾 純
池田恵理子, 玉田 喜一

PD2-10. 膵頭十二指腸切除後の膵管空腸吻合部狭窄、胆管空腸吻合部狭窄に対する後方斜視鏡を用いた治療

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科 ○千葉 和朗, 菊山 正隆, 来間佐和子
小泉 浩一, 神澤 輝実

PD2-11. 経鼻内視鏡を用いた胆道観察

新百合ヶ丘総合病院 消化器内科・内視鏡内科 ○牧山 裕顕, 高野 幸司, 中田 高央
石井 成明, 國分 茂博

パネルディスカッション3 6/11(日) 第2会場 13:20~16:00

「消化管癌内視鏡スクリーニング、検診の現況」

司会 埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 岡 政志
慶應義塾大学病院 予防医療センター 岩男 泰
特別発言 東京医科大学 消化器内視鏡学 河合 隆

PD3-01. まだら食道を予測する内視鏡所見：通常白色光および非拡大NBI観察での検診

国立がん研究センター中央病院 消化管内視鏡科 ○中谷 行宏, 鶴木絵里子, 近藤 崇
小田 一郎, 齋藤 豊

PD3-02. レーザー内視鏡を用いた上部消化管癌スクリーニング検査の検討

埼玉医科大学 総合診療内科¹⁾ ○山岡 稔¹⁾, 芦谷 啓吾¹⁾, 大庫 秀樹²⁾
同 消化管内科²⁾ 都築 義和²⁾, 今枝 博之²⁾

PD3-03. *Helicobacter pylori* 未感染胃癌の内視鏡所見に関する検討

湘南藤沢徳洲会病院 肝胆膵消化器病センター ○永田 充

PD3-04. 精度の高い上部消化管内視鏡検診を目指して

東京都がん検診センター 消化器科 ○富野 泰弘, 入口 陽介, 小田 丈二

PD3-05. 対策型内視鏡検診の事後指導による胃がん対策の集約化

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター 消化器科 ○山口 和也, 中川 由紀, 稲田 麻里
林 学

PD3-06. 人間ドックにおける萎縮性胃炎と血中ピロリ菌抗体偽陰性症例の検討

公立昭和病院 予防健診科 ○岩寄美智子, 石塚 裕昭, 川口 淳

PD3-07. 40歳での検診における大腸内視鏡検査の現況

自衛隊中央病院 ○杉原 奈央, 青野 茂昭, 佐藤 伸悟
松崎 宏治

PD3-08. 大腸がん検診における大腸内視鏡検査の精度管理に関する検討

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○上野 明子, 浦上 尚之, 平野 直樹
横山 登, 井上 晴洋

ワークショップ1 6/10 (土) 第1会場 13:20~16:00

「緊急診療における内視鏡診断と治療の現状」

司会 筑波大学附属病院 光学医療診療部 溝上 裕士
北里大学医学部新世紀医療開発センター先端医療領域開発部門 低侵襲光学治療学 田邊 聡

W1-01. 当院での緊急診療における高齢者出血性消化性潰瘍の実態

東京医科大学 茨城医療センター ○岩本 淳一, 門馬 匡邦, 小西 直樹
屋良昭一郎, 松崎 靖司

W1-02. 出血性胃潰瘍に対する止血クリップへのアルゴンプラズマ凝固法の効果と安全性の検討

龍ヶ崎済生会病院 消化器内科 ○佐藤巳喜夫, 間宮 孝, 海老原次男

W1-03. 当院救命救急センターにおけるnon variceal UGIB止血困難例の検討

北里大学医学部 救命救急医学¹⁾ ○中谷 研斗¹⁾, 田邊 聡²⁾
北里大学医学部新世紀医療開発センター先端医療領域開発部門 低侵襲光学治療学²⁾

W1-04. 上部消化管出血に対する緊急内視鏡的止血術の必要性を予測するためのスコアリングの検討

武蔵野赤十字病院 消化器科 ○小宮山泰之, 中西 裕之, 黒崎 雅之
泉 並木

W1-05. 当院における内視鏡的止血術—出血性十二指腸潰瘍に対する高周波凝固法—

東京都立大塚病院 ○田中 啓, 倉田 仁, 北澤 優美
檀 直彰, 藤木 和彦

W1-06. 出血性十二指腸潰瘍における内視鏡的止血困難例の検討

防衛医科大学校 内科学2講座¹⁾ ○溝口 明範¹⁾, 伊東 傑¹⁾, 西井 慎¹⁾
防衛医科大学校病院 光学医療診療部²⁾ 寺田 尚人¹⁾, 永尾 重昭²⁾

W1-07. 原因不明消化管出血 (OGIB) に対する小腸内視鏡検査の現状評価

防衛医科大学校病院 内科学第2講座¹⁾ ○西井 慎¹⁾, 伊東 傑¹⁾, 溝口 明範¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 寺田 尚人¹⁾, 永尾 重昭²⁾

W1-08. 当院におけるOGIB症例におけるカプセル内視鏡検査の役割

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 ○石橋 朗, 加藤 真吾, 岡 政志
名越 澄子, 屋嘉比康治

W1-09. 当院における大腸憩室出血の検討

東邦大学医療センター 消化器内科 ○瀧之上和弘, 大塚 隆文, 木村 隆輔
五十嵐良典, 住野 泰清

W1-10. 大腸憩室出血に対する造影CTの有用性の検討

国立病院機構高崎総合医療センター 消化器病センター ○工藤 智洋, 椎名 啓介, 關谷 真志
長沼 篤, 石原 弘

W1-11. 大腸憩室出血に対する緊急内視鏡検査の有用性の検討

筑波大学医学医療系 消化器内科¹⁾ ○坏 大輔¹⁾, 奈良坂俊明²⁾, 小林 克誠³⁾
筑波大学附属病院 光学医療診療部²⁾ 松田 健二⁴⁾, 溝上 裕士²⁾
東京都立墨東病院 消化器内科³⁾
筑波学園病院 消化器内科⁴⁾

W1-12. 大腸憩室出血の出血源同定に向けて

東京都立墨東病院 内科 ○小林 克誠, 古本 洋平, 松岡 愛菜
野坂 崇仁, 忠願寺義通

W1-13. 大腸憩室出血の治療戦略

亀田総合病院 消化器内科 ○山本 紘輝, 森主 達夫, 神田 圭輔

W1-14. 大腸憩室出血症例における早期・晚期再出血のリスク因子についての検討

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 ○佐藤 義典, 安田 宏, 伊東 文生

ワークショップ2 6/11 (日) 第2会場 9:00~11:10

「消化管腫瘍内視鏡治療に対する外科・内科 —診療科をまたいだ協調診療—」

司会 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 藤城 光弘
帝京大学ちば総合医療センター 消化器内科 道田 知樹
特別発言 がん研究会有明病院 消化器センター 比企 直樹

W2-01. 経皮経胃の逆行性アプローチによる内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した表在型食道癌の 1例

虎の門病院 消化器内科¹⁾ ○鈴木 悠悟¹⁾, 飯塚 敏郎¹⁾, 布袋屋 修¹⁾
同 消化器外科²⁾ 貝瀬 満¹⁾, 上野 正紀²⁾

W2-02. CRT後局所再発バレット腺癌にレザフィリンPDTを施行した一例

筑波大学 消化器内科¹⁾ ○佐藤 雅志¹⁾, 金子 剛¹⁾, 天貝 賢二²⁾
茨城県立中央病院 消化器内科²⁾ 溝上 裕士³⁾
筑波大学附属病院 光学医療診療部³⁾

W2-03. 食道および胃噴門の粘膜下腫瘍に対するPOETの治療成績

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○西川 洋平, 池田 晴夫, 鬼丸 学
郷田 憲一, 井上 晴洋

W2-04. 消化管腫瘍に対する当院の内科と外科の協調診療

慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門¹⁾ ○飽本 哲兵¹⁾, 後藤 修¹⁾, 川久保博文²⁾
慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科²⁾ 北川 雄光²⁾, 矢作 直久¹⁾

W2-05. 当院の胃粘膜下腫瘍に対するLECSの検討

防衛医科大学校 内科学2講座¹⁾ ○溝口 明範¹⁾, 西井 慎¹⁾, 寺田 尚人¹⁾
同 外科学講座²⁾ 辻本 広紀²⁾, 永尾 重昭³⁾
防衛医科大学校病院 光学医療診療部³⁾

W2-06. 当院におけるLECSの治療現況と早期胃癌に対する新たな試み

帝京大学ちば総合医療センター 外科¹⁾ ○森 幹人¹⁾, 首藤 潔彦¹⁾, 道田 知樹²⁾
同 消化器内科²⁾ 松原 久裕³⁾, 幸田 圭史¹⁾
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学³⁾

W2-07. 十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS) の導入：十二指腸NETに
対する治療経験

東京大学医学部附属病院 消化器内科¹⁾ ○辻 陽介¹⁾, 藤城 光弘^{1, 2)}, 山下 裕玄³⁾
同 光学医療診療部²⁾ 瀬戸 泰之³⁾, 小池 和彦¹⁾
同 胃・食道外科³⁾

ワークショップ3 6/11 (日) 第1会場 13:20~16:00

「膵胆道疾患に対する、より低侵襲内視鏡治療の現状は」

司会 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 五十嵐良典
公立昭和病院 予防・健診センター 川口 淳

W3-01. 80歳以上の高齢者総胆管結石症患者における内視鏡治療の検討

東邦大学医療センター大森病院 ○吉本 憲介, 宅間 健介, 伊藤 謙
岡野 直樹, 五十嵐良典

W3-02. 当院における超高齢者の総胆管結石に対する内視鏡的治療の安全性

独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院 消化器内科¹⁾ ○武田 悠希¹⁾, 原 精一^{1, 2)}, 大場 信之¹⁾
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科²⁾ 西中川秀太¹⁾, 児島 辰也¹⁾

W3-03. Performance Status不良な症例に対する総胆管結石治療

亀田総合病院 消化器内科 ○白鳥 俊康, 平田 信人, 中路 聡
小林 正佳, 吉村 茂修

W3-04. 胆管結石に対するダブルバルーン内視鏡使用ERCPにおける、経乳頭処置群と 経胆管空腸吻合処置群の治療成績の差の検討

千葉大学医学部 消化器腎臓内科 ○中村 昌人, 高橋 幸治, 露口 利夫

W3-05. 内視鏡的胆嚢ドレナージ術に対する管腔内超音波 (IDUS) の有用性

新東京病院 消化器内科 ○早坂 健司, 清水 貴徳, 末廣 聡士
勝山 泰志, 原田 英明

W3-06. 急性胆嚢炎における手術困難例に対する内視鏡的経乳頭胆嚢ステント留置術の有用性

新座志木中央総合病院 消化器内科¹⁾ ○松本 泰輔¹⁾, 新戸 禎哲¹⁾, 向井俊太郎²⁾
東京医科大学病院 消化器内科²⁾ 糸井 隆夫²⁾

W3-07. 急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢ステント留置術の有用性と安全性の検討

千葉大学医学部 消化器腎臓内科 ○高橋 幸治, 露口 利夫, 杉山 晴俊
熊谷純一郎, 中村 昌人

W3-08. 膵炎予防を目的とした膵管ガイドワイヤー留置下内視鏡的乳頭切除術の検討

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 ○小林 正典, 良沢 昭銘, 谷坂 優樹
原田 舞子, 小畑 力

W3-09. 当院における内視鏡的胆道ドレナージ法によって再処置を必要とした例の比較検討

公立昭和病院 内視鏡科¹⁾ ○大野 一将¹⁾, 細川 貴範²⁾, 川口 淳³⁾
同 消化器内科²⁾ 武田 雄一¹⁾, 野内 俊彦²⁾
同 予防検診科³⁾

W3-10. 当院でのERCP・EUSおよび関連手技の成績と治療方針

国立病院機構災害医療センター 消化器内科¹⁾ ○佐々木善浩¹⁾, 川村 紀夫²⁾, 大野 志乃¹⁾
国立病院機構東京病院 消化器内科²⁾ 上市 英雄¹⁾

W3-11. Pancreatic fluid collectionの内視鏡治療

北里大学病院 消化器内科 ○金子 亨, 木田 光広, 岩井 知久
今泉 弘, 小泉和二郎

W3-12. 膵切除後膵液漏の診断・治療におけるEUS-FNAの有用性

筑波大学附属病院 消化器内科¹⁾ ○長谷川直之¹⁾, 石毛 和紀¹⁾, 安部井誠人¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 溝上 裕士²⁾, 兵頭一之介¹⁾

トピックスレクチャー 1 6/10 (土) 第 2 会場 11:20~12:00

司会 北里大学 医学部 消化器内科学

小泉和三郎

「DAA時代の肝硬変・門脈圧亢進症の治療～胃食道静脈瘤、PHGから肝性脳症まで」

新百合ヶ丘総合病院 肝疾患低侵襲治療センター、内視鏡センター

國分 茂博

共催 あすか製薬株式会社

トピックスレクチャー 2 6/11 (日) 第 2 会場 11:20~12:00

司会 自治医科大学 消化器内科

山本 博徳

「小腸内視鏡ガイドラインとバルーン内視鏡の基本」

藤田保健衛生大学 消化管内科

大宮 直木

共催 富士フイルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー1 6/10 (土) 第1会場 12:10~13:10

司会 公立昭和病院

上西 紀夫

「ヘリコバクター・ピロリ除菌後の諸問題について」

国立国際医療研究センター国府台病院

上村 直実

共催 武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー2 6/10 (土) 第2会場 12:10~13:10

司会 筑波大学 医学医療系 臨床医学域 消化器内科学

兵頭一之介

「大腸癌薬物療法の最新知見」

国立がん研究センター東病院 消化管内科

吉野 孝之

共催 日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー3 6/10 (土) 第3会場 12:10~13:10

司会 がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科

門馬久美子

「食道表在癌に対する拡大内視鏡診断」

埼玉県立がんセンター 内視鏡科

有馬美和子

共催 富士フィルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー4 6/10 (土) 第4会場 12:10~13:10

司会 帝京大学医学部附属新宿クリニック 一瀬 雅夫

ヘリコバクター・ピロリ — 最近の話題

「*H. pylori* — 全身諸疾患への影響」

東京大学医学部付属病院 消化器内科 山道 信毅

「*H. pylori* 感染診断の新しい展開」

東京大学医学部付属病院 消化器内科 高橋 悠

共催 デンカ生研株式会社

ランチョンセミナー5 6/11 (日) 第1会場 12:10~13:10

司会 東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座 田尻 久雄

「胃癌の化学療法～内視鏡の先生にも知っておいてほしいこと～」

がん研有明病院 消化器化学療法科 山口 研成

共催 大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー6 6/11 (日) 第2会場 12:10~13:10

司会 国立国際医療研究センター国府台病院 上村 直実

「ルーチン検査における胃拡大内視鏡の有用性と限界」

福岡大学筑紫病院 内視鏡部 八尾 建史

共催 EAファーマ株式会社

ランチョンセミナー7 6/11 (日) 症例検討セッション会場 12:10~13:10

司会 がん研究会有明病院 外科 比企 直樹

「LECSのこれから ~女性外科医、若手外科医の教育~」

防衛医科大学校 上部消化管外科 辻本 広紀
国立国際医療研究センター病院 外科 野原 京子

共催 コヴィディエン ジャパン株式会社

ランチョンセミナー8 6/11 (日) 第3会場 12:10~13:10

司会 社会福祉法人あそか会あそか病院 外科 熊谷 一秀

「GERD・バレット食道の内視鏡診断・治療」

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 郷田 憲一

共催 アストラゼネカ株式会社/第一三共株式会社

ランチョンセミナー9 6/11 (日) 第4会場 12:10~13:10

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学 河合 隆

「『精度が高く効率的な内視鏡観察・撮影法』
~全国どこで受けても一定の精度が得られる標準観察を求めて~」

東京都がん検診センター 消化器内科 入口 陽介

共催 カイゲンファーマ株式会社

サテライトセミナー

**“エキスパートから学ぶ内視鏡診断”
～典型症例から診断に迷う病変～**

6/10 (土) 第1会場 18:30～20:00

司会 日本医科大学付属病院 内視鏡センター 貝瀬 満
国立がん研究センター中央病院 検診センター/内視鏡科 松田 尚久

基調講演

現況から見る画像強調拡大診断の位置づけと有用性

川崎市立井田病院 内視鏡センター 大森 泰

レクチャー

レクチャー1

咽喉～食道の標準観察法

川崎市立井田病院 内視鏡センター 大森 泰

レクチャー2

胃内視鏡の標準観察法

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 松本 健史

レクチャー3

大腸病変における内視鏡診断

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

共催 オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

症例検討セッション 6/11 (日) 症例検討セッション会場 9:00~10:30

「食道・胃」

司会 がん・感染症センター都立駒込病院 内視鏡科 門馬久美子
がん研究会有明病院 内視鏡診療部 藤崎 順子

食道

病理コメンテーター がん研究会有明病院 病理部 河内 洋
臨床コメンテーター 埼玉県立がんセンター 消化器内科 有馬美和子
症例提示者 がん・感染症センター 都立駒込病院 内視鏡科 剛崎 有加
読影者 東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科 高橋 厚子

胃

病理コメンテーター がん研究会有明病院 病理部 河内 洋
症例提示者 がん研究会有明病院 消化器内科 中野 薫
読影者 日本医科大学 消化器内科学 植木 信江
相模原協同病院 消化器内科 吉澤奈津子
臨床コメンテーター 国立国際医療研究センター 消化器内科 横井 千寿

症例検討セッション 6/11 (日) 症例検討セッション会場 10:30~12:00

「十二指腸・小腸」

司会 順天堂大学医学部 消化器内科学講座 松本 健史
自治医科大学 消化器内科 矢野 智則

ミニレクチャー 東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 大塚 和朗
症例提示者 日本医科大学 消化器内科学 鈴木 将大
自治医科大学 消化器内科 高見 博人
読影者 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 上原なつみ
杏林大学医学部 第三内科学教室 消化器内科 三浦 みき
病理コメンテーター 順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学 八尾 隆史

症例検討セッション 6/11 (日) 症例検討セッション会場 13:20~14:50

「大腸」

司会 北里大学医学部 消化器内科 横山 薫
 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

腫瘍

症例提示者 東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 福田 将義
 千葉県がんセンター 内視鏡科 鈴木 拓人
 コメンテーター NTT東日本関東病院 消化器内科 村元 喬
 病理コメンテーター 国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 小嶋 基寛

炎症性腸疾患

症例提示者 東京女子医科大学 消化器内科 大森 鉄平
 コメンテーター 東京医科歯科大学 消化器内科 松岡 克善
 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 山下 真幸

症例検討セッション 6/11 (日) 症例検討セッション会場 14:50~16:20

「胆・膵」

司会 千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学 露口 利夫
 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 岡野 直樹

病理コメンテーター 千葉大学大学院医学研究院 病態病理学 岸本 充
 画像読影コメンテーター 慶應義塾大学医学部 消化器内科 岩崎 栄典
 亀田総合病院 消化器内科 中路 聡
 防衛医科大学校病院 光学医療診療部 高本 俊介
 発表者 東京大学 消化器内科 高原 楠昊
 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 原 精一

ハンズオントレーニングセッション

協力：オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

「胃 (ESD) コース」 6/10 (土) 第5会場 9:00~12:00

総合司会 慶應義塾大学病院 腫瘍センター 矢作 直久

インストラクター

慶應義塾大学 腫瘍センター 藤本 愛
虎の門病院 消化器内科 菊池 大輔
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 阿部清一郎
聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 松尾 康正

「食道 (ESD) コース」 6/10 (土) 第5会場 13:30~15:30

総合司会 虎の門病院 消化器内科 飯塚 敏郎

インストラクター

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 池田 晴夫
虎の門病院 消化器内科 菊池 大輔

「EUS, EUS-FNAコース」 6/11 (日) 第5会場 9:00~12:00

総合司会 北里大学医学部 消化器内科学 木田 光広

インストラクター

北里大学医学部 消化器内科学 岩井 知久
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 杉森 一哉
群馬大学 消化器・肝臓内科 水出 雅文
東京医科大学臨床医学系 消化器内科学分野 土屋 貴愛

「大腸 (ESD) コース」 6/11 (日) 第5会場 13:20~16:20

総合司会 NTT東日本関東病院 内視鏡部 大圃 研

インストラクター

大森赤十字病院 消化器内科 千葉 秀幸
東京大学医学部附属病院 消化器内科 辻 陽介
埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 野中 康一
NTT東日本関東病院 消化器内科 田島 知明

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

座 長 一 覧

～専修医セッション～ 6/10 (土) 第3会場

1～ 5	食道・胃	9：10～ 9：45	渡邊 俊介
6～ 10	胃1	9：45～10：20	中野 正和
11～ 15	胃2	10：20～10：55	村上 昌
16～ 20	胃3	13：20～13：55	岸野真衣子
21～ 25	胃4	13：55～14：30	浅野 朗
26～ 29	胃・十二指腸	14：30～14：58	保母 貴宏

～専修医セッション～ 6/10 (土) 第4会場

30～ 34	大腸	9：10～ 9：45	鳥羽 崇仁
35～ 38	胆膵・十二指腸	9：45～10：13	細川 貴範
39～ 43	胆膵・その他	10：13～10：48	藤澤 聡郎

～研修医セッション～ 6/10 (土) 第4会場

44～ 47	胃・食道	13：20～13：48	小飯塚仁彦
48～ 51	胃・小腸・大腸	13：48～14：16	鈴木 真由
52～ 55	大腸1	14：16～14：44	有馬 秀英
56～ 59	胆膵	14：44～15：12	佐藤 知己

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

～一般演題～

6/11 (日) 第3会場

60～ 63	胆膵1	9：10～ 9：42	田中 麗奈
64～ 67	胆膵2	9：42～10：14	金子 亨
68～ 70	胆膵3	10：14～10：38	瀬座 勝志
71～ 74	食道1	10：38～11：10	中村 佳子
75～ 77	食道2	13：20～13：44	坂口 賀基
78～ 81	大腸1	13：44～14：16	中村 知己
82～ 85	大腸2	14：16～14：48	竹澤 敬人

6/11 (日) 第4会場

86～ 89	胃1	9：10～ 9：42	松本 紘平
90～ 93	胃2	9：42～10：14	江崎 充
94～ 99	胃3	10：14～11：02	布部 創也
100～103	十二指腸	11：02～11：34	大野亜希子
104～106	小腸	13：20～13：44	小野 真史
107～111	大腸3	13：44～14：24	小田木 勲
112～116	大腸4	14：24～15：04	鈴木 考治

評 価 者

群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部	富澤 琢
三楽病院 消化器内科	和田 友則
国立病院機構東京医療センター 消化器内科	浦岡 俊夫
公立昭和病院 消化器内科/内視鏡科	浦牛原幸治
がん・感染症センター 都立駒込病院 消化器内科	藤原 崇

専修医セッション 6/10 (土) 第3会場

9:10~9:45 食道・胃 座長 杏林大学医学部第三内科学教室 消化器内科 渡邊 俊介

1. 胃Hamartomatous Inverted Polypの1例

自治医科大学附属さいたま医療センター¹⁾ ○小糸 雄大¹⁾, 新藤 雄司²⁾, 新畑 博英²⁾
さいたま市民医療センター²⁾ 浅見 育広²⁾

2. 粘膜下腫瘍(SMT)様の形態を呈し、超音波内視鏡下穿刺吸引術(EUS-FNA)が診断に有用であった低分化型胃癌の1例

横浜南共済病院 消化器内科 ○三井 智広, 鈴木 良優, 佐野 裕亮
高木 将, 中山 沙映, 小串 勝昭
桑島 拓史, 福島 泰斗, 小林 槇
飯塚 千乃, 有馬 功, 濱中 潤
金子 卓, 岡 裕之, 岡崎 博

3. 化学放射線療法後の胃管内局所再発食道癌に対して光線力学的療法にて局所コントロールが可能であった1例

日本医科大学 消化器外科 ○犬飼 惇, 松谷 毅, 萩原 信敏
野村 務, 藤田 逸郎, 金沢 義一
柿沼 大輔, 菅野 仁士, 新井 洋紀
下田 朋宏, 太田恵一朗, 内田 英二

4. 食道アカラシアに合併したDieulafoy潰瘍の止血にTAEが有効であった1例

湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科¹⁾ ○寺根 亜弥¹⁾, 佐々木亜希子²⁾, 江頭 秀人²⁾
同 消化器病センター²⁾ 築山 俊毅³⁾, 滝沢 聡²⁾, 高橋 雄治¹⁾
同 放射線科³⁾ 稲田 悠¹⁾, 小野寺俊幸¹⁾, 中野秀比古¹⁾
隅田ちひろ¹⁾, 田澤 智彦²⁾, 成 志弦²⁾
市田 親正²⁾, 所 晋之助²⁾, 増田 作栄²⁾
魚嶋 晴紀²⁾, 小泉 一也²⁾, 金原 猛²⁾
賀古 眞²⁾

5. 黒色食道が認められた急性壊死性食道炎の一例

獨協医科大学 消化器内科 ○島田 紘爾, 紀 仁, 佐久間 文
田中 孝尚, 高橋 史成, 中野 正和
土田 幸平, 富永 圭一, 平石 秀幸

9:45~10:20 胃1

座長 獨協医科大学病院 消化器内科 中野 正和

6. 粘膜内限局リンパ球浸潤胃癌における内視鏡所見及び臨床病理学的特徴の検討

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科¹⁾ ○藤吉 祐輔^{1, 2)}, 大野 康寛¹⁾, 高島 健司¹⁾
総合病院国保旭中央病院 消化器内科²⁾ 中條恵一郎¹⁾, 伊藤 鍊磨¹⁾, 佐藤 大幹¹⁾
南出 竜典¹⁾, 岡本 直樹¹⁾, 山本 陽一¹⁾
中村 弘¹⁾, 本部 卓也¹⁾, 門田 智裕¹⁾
依田 雄介¹⁾, 堀 圭介¹⁾, 池松 弘朗¹⁾
志村 謙次²⁾, 矢野 友規¹⁾

7. 当院における胃hamartomatous inverted polypの検討

東京慈恵会医科大学附属病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○青木 祐磨¹⁾, 松井 寛昌²⁾, 古橋 広人²⁾
同 内視鏡科²⁾ 原 裕子²⁾, 島本 奈々²⁾, 樺 俊介²⁾
小林 雅邦²⁾, 小野 真吾²⁾, 猪又 寛子²⁾
金澤 慶典²⁾, 小田木 勲²⁾, 月永真太郎²⁾
大谷 友彦²⁾, 玉井 尚人²⁾, 豊泉 博史²⁾
炭山 和毅²⁾

8. 早期胃癌内視鏡治療後の異時性再発の監視中に診断しえた、内視鏡的に判別困難であった胃カルチノイドの一例

横浜市立市民病院 消化器内科 ○市川 将隆, 諸星 雄一, 角田 裕也
日比 則孝, 杉本 祐一, 辻野誠太郎
新見 真央, 伊藤 剛, 今村 諭
長久保秀一, 小池 祐司, 藤田由里子
小松 弘一

9. 悪性黒色腫の胃内転移病変に対し拡大内視鏡にて精査を施行した1例

東京慈恵会医科大学附属病院 ○光吉 優貴, 松井 寛昌, 古橋 広人
原 裕子, 島本 奈々, 樺 俊介
小林 雅邦, 小野 真吾, 猪又 寛子
金澤 慶典, 小田木 勲, 月永真太郎
大谷 友彦, 玉井 尚人, 豊泉 博史
炭山 和毅

10. EBV関連早期胃癌の1例

佐野厚生総合病院 ○松永 崇宏, 岡村 幸重, 戸ヶ崎和博
上岡 直史, 白石 貴久, 上原 淳
寺元 研, 東澤 俊彦, 関根 忠一

10:20~10:55 胃2 座長 東京医科大学茨城医療センター 内科(消化器) 村上 昌

11. 胃ESD後出血により出血性ショックを来し緊急血管造影で止血処置を施行した1例

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾ ○石橋 侑¹⁾, 矢野 貴史¹⁾, 田辺 聡²⁾
同 新世紀医療開発センター²⁾ 和田 拓也¹⁾, 石戸 謙次¹⁾, 東 瑞智¹⁾
同 放射線科学³⁾ 堅田 親利¹⁾, 原 敏将³⁾, 小泉和三郎¹⁾

12. 同時性胃体部癌2病変を伴い異所性膵直上に発生した前底部癌の1例

国立国際医療研究センター 消化器内科¹⁾ ○濱田麻梨子¹⁾, 横井 千寿¹⁾, 猪狩 亨²⁾
同 中央検査科²⁾ 飯田 龍洋¹⁾, 泉 敦子¹⁾, 小林 桜子¹⁾
下村 暁¹⁾, 松下 祐紀¹⁾, 木村 花菜¹⁾
柳澤 直宏¹⁾, 木平 英里¹⁾, 久田 裕也¹⁾
守安 志織¹⁾, 櫻井 恵¹⁾, 大久保栄高¹⁾
忌部 航¹⁾, 渡辺 一弘¹⁾, 永田 尚義¹⁾
櫻井 俊之¹⁾, 小早川雅男¹⁾, 秋山 純一¹⁾

13. ESDにて拡大治癒切除を得られた、丈の高い隆起型胃癌の1例

公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院 消化器内科¹⁾ ○佐藤 淳一¹⁾, 加藤 礼子¹⁾, 大畑 健次¹⁾
同 化学療法室²⁾ 趙 利奈¹⁾, 佐久間信行¹⁾, 永尾 清香¹⁾
与田 武徳¹⁾, 降旗 誠²⁾, 花尻 和幸¹⁾
和田 友則¹⁾

14. 遺伝性出血性毛細血管拡張症の1例

東邦大学大森病院 消化器内科 ○西川 雄祐, 中込英里子, 馬越 智子
乾山 光子, 山本 慶郎, 向津 隆規
岡本 陽祐, 小野 真史, 木村 隆輔
大塚 隆文, 五十嵐良典

15. 脾動脈穿破により大量出血した胃潰瘍の1例

済生会川口総合病院 ○稲本 林

13:20~13:55 胃3 座長 東京女子医科大学 消化器内視鏡科 岸野真衣子

16. 内視鏡所見を契機に診断された胃梅毒の1例

さいたま赤十字病院 ○佐藤 平, 高橋 正憲, 舟田 圭
 大津威一郎, 土井 浩達, 鎮西 亮
 笹島 圭太

17. 胃に発生したverrucous carcinomaの1例

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○清水口涼子¹⁾, 藤原 崇¹⁾, 田畑 拓久²⁾
 同 内視鏡科²⁾ 大西 知子¹⁾, 荒川 丈夫²⁾, 柴田 理美¹⁾
 同 外科³⁾ 千葉 和朗¹⁾, 来間佐和子¹⁾, 桑田 剛¹⁾
 同 病理科⁴⁾ 藤原 純子²⁾, 菊山 正隆¹⁾, 門馬久美子²⁾
 三浦 昭順³⁾, 堀口慎一郎⁴⁾, 小泉 浩一¹⁾

18. 食道アカラシア術後に穿孔をきたし、内視鏡的幽門形成術を施行した肥厚性幽門狭窄症の一例

東京慈恵医科大学付属病院 消化器肝臓内科 ○出口 雅彦, 小野 真吾, 星野 真人
 矢野 文章, 三森 教雄, 炭山 和毅

19. 放射線治療が奏功した、ヘリコバクター・ピロリ陰性・胃MALTリンパ腫の1例

平塚共済病院 消化器科 ○北原 言, 山崎 好喜, 石橋 侑
 北川 博之, 寺田 昌弘, 河西顯太郎
 西山 竜, 菊地 秀彦, 里道 哲彦
 野登 誠

20. 落下による小腸閉塞を起こした柿胃石の1例

J A とりで総合医療センター 消化器内科 ○杉山 勇太, 小原 淳, 遠藤 南
 浅川 剛人, 橋口 真子, 飯塚 泰弘
 後藤 文男, 河村 貴広

13:55~14:30 胃4 座長 武蔵野徳洲会病院 総合診療科 浅野 朗

21. コンドーム型尿道カテーテルを用いて誤飲した4cm大の鋭利な義歯を内視鏡的に除去した1例

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 ○辻 顕介, 小澤俊一郎, 加藤 正樹
 小澤 碧, 佐藤 義典, 池田 佳子
 松尾 康正, 山下 真幸, 安田 宏
 伊東 文生

22. 十二指腸乳頭部癌と胆管神経内分泌腫瘍と横行結腸癌の同時重複を認めた1例

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 消化器内科¹⁾ ○緒方 文大¹⁾, 今村 綱男¹⁾, 浦崎 裕二¹⁾
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院 消化器外科²⁾ 田村 哲男¹⁾, 小泉 優子¹⁾, 小山里香子¹⁾
橋本 雅司²⁾

23. 内視鏡的止血に難渋した十二指腸憩室出血の一例

虎の門病院 消化器内科 ○小笠原暢彦, 栗林 泰隆, 福馬有美子
田中 匡実, 野村 浩介, 鳥羽 崇仁
山下 聡, 古畑 司, 松井 啓
菊池 大輔, 飯塚 敏郎, 布袋屋 修
貝瀬 満

24. 腹腔内膿瘍を合併した小腸大腸型クローン病の1例

東京女子医科大学病院 消化器病センター 内科¹⁾ ○神林 玄隆¹⁾, 大森 鉄平¹⁾, 村杉 瞬¹⁾
同 外科²⁾ 柏木 宏幸¹⁾, 原 敏文¹⁾, 伊藤亜由美¹⁾
米沢麻利亚¹⁾, 谷 公孝²⁾, 松尾 夏来²⁾
小川 真平²⁾, 飯塚 文瑛¹⁾, 板橋 道朗²⁾
中村 真一¹⁾, 徳重 克年¹⁾, 山本 雅一²⁾

25. 術前に確定診断しえた若年性小腸癌の1例

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科¹⁾ ○中込英理子¹⁾, 西川 雄祐¹⁾, 瀧之上和弘¹⁾
同 消化器外科²⁾ 小林 智子¹⁾, 乾山 光子¹⁾, 山本 慶郎¹⁾
同 病院病理部³⁾ 小林 俊介¹⁾, 小野 真史¹⁾, 原 精一¹⁾
大塚 隆文¹⁾, 五十嵐良典¹⁾, 牛込 充則²⁾
小池 淳一²⁾, 船橋 公彦²⁾, 密田 亜希³⁾
根本 哲生³⁾, 渋谷 和俊³⁾

14:30~14:58 胃・十二指腸 座長 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 保母 貴宏

26. ダサチニブの休薬による著明な改善を得た大腸ポリポシスの一例

筑波記念病院 消化器内科 ○山浦 正道, 小林真理子, 岩井健太郎
越智 大介, 大塚公一朗, 添田 敦子
池澤 和人

27. 短期間での形態変化を呈した直腸MALTリンパ腫の一例

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科¹⁾ ○高橋 翔¹⁾, 福嶋 浩文¹⁾, 泉 健太郎¹⁾
同 血液内科²⁾ 田島 譲¹⁾, 村上 敬¹⁾, 立之 英明¹⁾
同 人体病理学講座³⁾ 上山 浩也¹⁾, 澁谷 智義¹⁾, 後藤 明彦²⁾
坂本 直人¹⁾, 八尾 隆史³⁾, 荻原 達雄¹⁾
渡辺 純夫¹⁾

28. ニボルマブ投与中に発症した腸炎の1例

帝京大学 内科¹⁾ ○中村 直裕¹⁾, 丸山 喬平¹⁾, 三木 淳史¹⁾
同 病院病理部²⁾ 八木みなみ¹⁾, 岡村 喬之¹⁾, 川島 悠¹⁾
青柳 仁¹⁾, 磯野 朱里¹⁾, 江波戸直久¹⁾
三浦 亮¹⁾, 阿部浩一郎¹⁾, 有住 俊彦¹⁾
相磯 光彦¹⁾, 高森 頼雪¹⁾, 山本 貴嗣¹⁾
田中 篤¹⁾, 喜多 宏人¹⁾, 滝川 一¹⁾
斉藤 光次²⁾, 近藤 福雄²⁾

29. 穿通を認めたCMV腸炎の2例

戸田中央総合病院 消化器内科 ○富田 裕介, 山本 圭, 原田 容治
堀部 俊哉, 岸本 佳子, 藤田 充
阿部 正和, 香川 泰之, 根本 大樹

評 価 者

防衛医科大学校 消化器内科	渡辺知佳子
上尾総合中央病院 消化器内科	西川 稿
昭和大学藤が丘病院 消化器内科	長濱 正亞
自衛隊中央病院 消化器内科	青野 茂昭

専修医セッション 6/10 (土) 第4会場

9:10~9:45 大腸 座長 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 鳥羽 崇仁

30. 直腸早期神経内分泌癌の1例

東京医科大学 八王子医療センター ○高橋 宏史, 福澤 誠克, 村松 孝洋
 杉本 暁彦, 山内 芳也, 松江 右武
 高橋 佑輔, 殿塚 亮祐, 平山 泰丈
 奴田原大輔, 中村 洋典, 平良 淳一
 今井 康晴

31. 薬剤性腸炎との鑑別を要したアメーバ腸炎の一例

筑波大学附属病院 消化器内科 ○山口 雄司, 山田 武史, 菅沼 大輔
 佐藤 雅志, 田島 大樹, 内田 優一
 奈良坂俊明, 金子 剛, 鈴木 英雄
 溝上 裕士, 兵藤一之介

32. 当院で経験した大腸神経線維腫の1例

東京慈恵会医科大学附属病院 消化器肝臓内科¹⁾ ○石川 将史¹⁾, 澤田 亮一¹⁾, 水野 雄介¹⁾
 同 病院病理部²⁾ 光永 真人¹⁾, 松岡 美佳¹⁾, 加藤 智弘¹⁾
 猿田 雅之¹⁾, 深澤 寧²⁾, 野村 浩一²⁾
 池上 雅博²⁾

33. 当院におけるPocket Creation Methodによる大腸ESDの検討

東京都健康長寿医療センター 消化器内科¹⁾ ○藤井 悠子¹⁾, 西村 誠²⁾, 武村 拓也¹⁾
 同 内視鏡科²⁾ 松川 美保²⁾, 潮 靖子¹⁾, 佐々木美奈¹⁾
 上垣佐登子¹⁾

34. 緊急内視鏡が有効であった有茎性ポリープからの出血の1例

東京都教職員互助会 三楽病院 内科 ○趙 利奈, 与田 武徳, 大畑 健次
 佐藤 淳一, 佐久間信行, 永尾 清香
 加藤 礼子, 花尻 和幸, 和田 友則

9 : 45 ~ 10 : 13 胆膵・十二指腸 座長 公立昭和病院 消化器内科 細川 貴範

35. 胆嚢癌合併胆石胆嚢炎に対してENGBDにより加療診断し得た1例

杏林大学医学部 第三内科 ○野坂 岳志, 倉田 勇, 後藤 知之
吉田 翼, 深澤 友里, 太田 博崇
落合 一成, 権藤 興一, 渡邊 俊介
蓮江 智彦, 土岐 真朗, 中村 健二
山口 康晴, 高橋 信一, 森 秀明
久松 理一

36. 内視鏡的胆嚢ステント (EGBS) 留置後に胆嚢十二指腸瘻を来し胆石イレウスを発症した一例

千葉市立海浜病院 ○田澤 真一, 和田勝之, 薄井 正俊
野本 裕正, 齋藤 博文, 北 和彦

37. 腹腔鏡下胆嚢摘出術時のクリップを核とした総胆管結石の一例

さいたま市民医療センター ○賀嶋ひとみ, 新畑 博英, 新藤 雄司
浅見 育広

38. 胃内への穿破により改善した膵仮性嚢胞の一例

東京警察病院 消化器科 ○近藤 僚, 小椋 啓司, 八木岡 浩
徳山 信行, 芹澤多佳子, 内田 麻美
藤澤 剛太

10 : 13 ~ 10 : 48 胆膵・その他 座長 順天堂大学 消化器内科 藤澤 聡郎

39. EST後に発見された総胆管結石を合併した十二指腸乳頭部癌の2例

千葛病院 消化器内科 ○神田 仁, 柿本 年春, 山口 俊和

40. 超音波内視鏡検査により右胃大網動脈瘤が破綻し腹腔内出血をきたした1例

千葉大学医学部附属病院 ○藤原希彩子, 妹尾 純一, 高橋 幸治
明杖 直樹, 熊谷純一郎, 大和 睦実
林 雅博, 日下部裕子, 中村 昌人
安井 伸, 杉山 晴俊, 三方林太郎
酒井 裕司, 露口 利夫

41. 重症急性膵炎を契機に発見した十二指腸乳頭部癌の1例

横浜南共済病院 ○鈴木 良優, 三井 智弘, 高木 将
佐野 裕亮, 中山 沙映, 桑島 拓史
小串 勝昭, 福島 泰斗, 飯塚 千乃
飯谷 槿, 有馬 功, 濱中 潤
金子 卓, 岡 裕之, 岡崎 博

42. 経乳頭的膵管生検が確定診断に有用であった通常型膵癌の1例

太田記念病院 消化器内科 ○木村浩一郎, 伊島 正志, 永島 一憲
栗原 英心, 落合 康雄, 川上 知孝
大竹 陽介

43. 診断にEUS-FNAが有用であった無症候性の結核性リンパ節炎の一例

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○町田雄二郎¹⁾, 福原誠一郎²⁾, 岩崎 栄典¹⁾
同 病理学教室²⁾ 楮 柏松¹⁾, 瀧本 洋一¹⁾, 片山 正¹⁾
同 内視鏡センター³⁾ 南 一洋¹⁾, 川崎慎太郎¹⁾, 松下美紗子¹⁾
川井田みほ²⁾, 清野 隆史¹⁾, 細江 直樹³⁾
緒方 晴彦³⁾, 金井 隆典¹⁾

研修医セッション 6/10 (土) 第 4 会場

13:20~13:48 胃・食道 座長 国立国際医療研究センター国府台病院 消化器内科 小飯塚仁彦

44. アピキサバンへの変更により改善を認めたダビガトラン起因性食道炎の 1 例

国立国際医療研究センター国府台病院 消化器・肝臓内科 ○小高 慶太, 矢田 智之, 岩崎 秀治
久野木康仁, 池上友梨佳, 福永 高之
伊藤 光一, 鈴木 桂悟, 板倉 由幸
赤澤 直樹, 小飯塚仁彦, 上村 直実

45. 上部消化管内視鏡検査を契機に診断されたCowden病の一例

千葉メディカルセンター 消化器内科 ○岩永 光巨, 瀬座 勝志, 大内 麻倫
長島 有輝, 丸田 享, 小泉 周子
中村 奈海, 齊藤 昌也, 福田 吉宏

46. 特発性食道破裂術後の食道胸腔瘻に対し、内視鏡的瘻孔閉鎖術が著効した 1 例

防衛医科大学 内科学 2 講座¹⁾ ○堀内 知晃¹⁾, 溝口 明範¹⁾, 飯田 怜一¹⁾
同 外科学 講座²⁾ 千谷 菜花¹⁾, 吉留 佑太¹⁾, 伊東 傑¹⁾
防衛医科大学 病院 光学医療診療部³⁾ 西井 慎¹⁾, 寺田 尚人¹⁾, 古橋 廣崇¹⁾
高城 健¹⁾, 丸田 紘史¹⁾, 白壁 和彦¹⁾
東山 正明¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 富田 謙吾¹⁾
高本 俊介³⁾, 穂苅 量太¹⁾, 三浦総一郎¹⁾
原田 学²⁾, 辻本 広紀²⁾, 永尾 重昭³⁾

47. ESDにて治療し得た巨大な食道海綿状血管腫の 1 例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部¹⁾ ○佐藤 博紀¹⁾, 池田 良輔¹⁾, 福地 剛英¹⁾
横浜市立大学 消化器内科学教室²⁾ 石井 泰明¹⁾, 小林 亮介¹⁾, 佐藤 知子¹⁾
平澤 欣吾¹⁾, 前田 慎²⁾

13:48~14:16 胃・小腸・大腸 座長 順天堂大学順天堂医院 鈴木 真由

48. 出血を呈した腎細胞癌胃転移の 1 例

防衛医科大学 病院 内科学 2 講座¹⁾ ○千谷 菜花¹⁾, 西井 慎¹⁾, 飯田 怜一¹⁾
同 検査部 病理²⁾ 堀内 知晃¹⁾, 吉留 佑太¹⁾, 伊東 傑¹⁾
同 光学医療診療部³⁾ 溝口 明範¹⁾, 寺田 尚人¹⁾, 古橋 廣崇¹⁾
高城 健¹⁾, 丸田 紘史¹⁾, 白壁 和彦¹⁾
東山 正明¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 富田 謙吾¹⁾
穂苅 量太¹⁾, 三浦総一郎¹⁾, 加藤 貴美²⁾
中西 邦昭²⁾, 高本 俊介³⁾, 永尾 重昭³⁾

49. 小腸シングルバルーン内視鏡により診断しカプセル内視鏡で治療効果を観察しえた好酸球性腸炎の一例

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科¹⁾ ○名取 直俊¹⁾, 熊川まり子¹⁾, 金子 真大¹⁾
 日本大学病院 消化器内科²⁾ 大木 庸子¹⁾, 松本 直樹¹⁾, 中村 仁美¹⁾
 松岡 俊一¹⁾, 今津 博雄¹⁾, 後藤田卓志²⁾
 森山 光彦^{1, 2)}

50. 便潜血陽性を契機に発見された異物による上行結腸瘻孔形成の1例

順天堂大学医学部附属 練馬病院 ○鈴木 信之, 小沼 宏徳, 森本 崇
 佐藤 寿史, 中寺 英介, 井草 祐樹
 福生 有華, 深田 浩大, 東原 良恵
 川邊 正人, 大久保裕直, 宗林 祐史
 宮崎 招久

51. 電解質喪失症候群(EDS)を呈した直腸絨毛腫瘍の一例

水戸協同病院 消化器内科¹⁾ ○中島里佳子¹⁾, 熊倉 有里¹⁾, 有賀 啓之¹⁾
 同 外科²⁾ 鹿志村純也¹⁾, 塚本俊太郎²⁾, 松村 英樹²⁾
 同 病理科³⁾ 石橋 敦²⁾, 近藤 匡²⁾, 渡邊 宗章²⁾
 高屋敷典生³⁾

14 : 16~14 : 44 大腸1 座長 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 有馬 秀英

52. 診断に苦慮した結腸浸潤をきたした子宮体癌の1例

東京歯科大学市川総合病院 消化器内科 ○長谷川靖晃, 木村佳代子, 下畷啓太郎
 伊藤 麻子, 荒畑 恭子, 財部紗基子
 貝田 将郷, 岸川 浩, 西田 次郎

53. 脳腫瘍を合併したLynch症候群の一例

昭和大学江東豊洲病院 臨床研修センター¹⁾ ○加藤 久貴¹⁾, 浦上 尚之²⁾, 上野 明子²⁾
 同 消化器センター²⁾ 平野 直樹²⁾, 横山 登²⁾, 井上 晴洋²⁾

54. 直腸絨毛腫瘍により電解質異常を認めた一例

東京医科歯科大学 消化器内科¹⁾ ○鈴木 美麗¹⁾, 桑原小の実¹⁾, 福田 将義²⁾
 同 光学診療部²⁾ 和田 祥城²⁾, 岡田英理子²⁾, 松岡 克善¹⁾
 同 大腸肛門外科³⁾ 山内 慎一³⁾, 安野 正道³⁾, 和田あかね⁴⁾
 東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部⁴⁾ 倉田 盛人⁴⁾, 仁部 洋一¹⁾, 北畑富貴子¹⁾
 根本 泰宏¹⁾, 藤井 俊光¹⁾, 大島 茂¹⁾
 中川 美奈¹⁾, 永石 宇司¹⁾, 柿沼 晴¹⁾
 岡本 隆一¹⁾, 大塚 和朗²⁾, 渡辺 守¹⁾

55. アスピレーションムコゼクターと止血クリップにて留置スネアを固定し絞扼し得た有茎性大腸癌に対するポリペクトミーの 1 例

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 ○久代裕一郎, 小澤俊一郎, 加藤 正樹
小澤 碧, 佐藤 義典, 池田 佳子
松尾 康正, 山下 真幸, 安田 宏
伊東 文生

14 : 44~15 : 12 胆膵

座長 菊名記念病院 消化器内科 佐藤 知己

56. Von Recklinghausen病に十二指腸乳頭部ソマトスタチン産生神経内分泌腫瘍と空腸GISTを合併した一例

国家公務員共済連合会 虎の門病院 ○常 菘, 落合 頼業, 前田 裕介
浦崎 裕二, 田村 哲男, 小泉 優子
小山里香子, 西岡裕次郎, 橋本 雅司
今村 綱男

57. 無症候性胆石症で経過観察中に胆嚢-十二指腸瘻孔により胆石性イレウスを呈した一例

防衛医科大学校病院 内科学2講座¹⁾ ○飯田 怜一¹⁾, 寺田 尚人¹⁾, 伊東 傑¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 西井 慎¹⁾, 溝口 明範¹⁾, 古橋 廣崇¹⁾
高城 健¹⁾, 丸田 紘史¹⁾, 白壁 和彦¹⁾
東山 正明¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 富田 謙吾¹⁾
穂苅 量太¹⁾, 三浦総一郎¹⁾, 高本 俊介²⁾
永尾 重昭²⁾

58. 十二指腸乳頭を胆管ステントが穿通した一例

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 水戸協同病院¹⁾ ○村田 亘¹⁾, 有賀 啓之²⁾, 熊倉 有里²⁾
同 消化器内科²⁾ 鹿志村純也²⁾

59. 妊娠25週に胆石性膵炎を発症し、ERCPを施行した 1 例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター¹⁾ ○鈴木 華織¹⁾, 三輪 治生¹⁾, 三箇 克幸¹⁾
横浜市立大学医学部 消化器内科学²⁾ 合田 賢弘¹⁾, 小畑聡一郎³⁾, 入江 邦泰¹⁾
横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター³⁾ 三浦 雄輝¹⁾, 杉森 一哉¹⁾, 沼田 和司¹⁾
前田 慎²⁾

一般演題 6/11 (日) 第3会場

9:10~9:42 胆膵1 座長 東京医科大学病院 消化器内科 田中 麗奈

60. 術前ENBD留置が開窓術時の胆汁瘻部位同定に有用であった巨大肝嚢胞の一切除例

東葛病院 消化器内科¹⁾ ○柿本 年春¹⁾, 神田 仁¹⁾, 山口 俊和¹⁾
同 外科²⁾ 岸野亜紀子²⁾, 濱砂 一光²⁾, 五日市 宏²⁾
同 臨床病理科³⁾ 渡辺 真²⁾, スレスタサントス²⁾, 林 美保²⁾
大野義一郎²⁾, 継 篤²⁾, 下 正宗³⁾
小野 ゆり³⁾, 藤田 彩人³⁾

61. DBE-ERCPとIV-EUSの併用による両葉ドレナージが有効であった術後腸管を有する閉塞性黄疸の3例

東京大学医学部附属病院 消化器内科 ○鈴木 辰典, 木暮 宏史, 伊佐山浩通
川路 祐輝, 中村 知香, 佐藤 達也
武田 剛志, 齋藤 圭, 梅舟 仰胤
齋藤 友隆, 渡邊 健雄, 高木 馨
内野 里枝, 高原 楠晃, 水野 卓
松原 三郎, 中井 陽介, 多田 稔
小池 和彦

62. 当院における悪性胆道狭窄に対する経乳頭の病理診断の検討

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野¹⁾ ○菊田大一郎¹⁾, 中河原浩史¹⁾, 岩塚 邦生¹⁾
日本大学医学部病態病理学系 形態機能病理学分野²⁾ 高橋 利実¹⁾, 草野 央¹⁾, 小川 眞広¹⁾
山雄 健次¹⁾, 後藤田卓志¹⁾, 森山 光彦¹⁾
絹川 典子²⁾

63. 抗凝固療法が奏功した、胆管炎に起因する門脈血栓症の一例

菊名記念病院 ○佐藤 知己, 新谷 文崇, 中村 仁紀
庄司 達弘, 西元 史哉

9:42~10:14 胆膵2 座長 北里大学 消化器内科 金子 亨

64. 経皮的生検が困難な肝腫瘍に対するEUS-FNAの有用性

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 ○高野 祐一, 長浜 正亞, 岩橋 健太
田淵 晃大, 新谷 文崇, 東畑美幸子
林 将史, 中西 徹, 花村祥太郎
山村 詠一, 五味 邦代, 黒木優一郎
丸岡 直隆, 井上 和明

65. EUS下胃膵管吻合術施行時にステント迷入をlassoの引き込みにより回避できた1例

帝京大学溝口病院 消化器内科 ○馬淵 正敏, 土井 晋平, 足立 貴子
恩田 毅, 松本光太郎, 梶山はな恵
松本光太郎, 網島 弘道, 関根 一智
辻川 尊之, 梶山 祐介, 佐藤浩一郎
菊池健太郎, 安田 一朗

66. EUS-FNAにより診断した腹腔内悪性リンパ腫の一例

東京通信病院¹⁾ ○加藤 知爾¹⁾, 水地 大輔²⁾, 関川憲一郎¹⁾
同 血液内科²⁾ 北村和貴子¹⁾, 古谷 建吾¹⁾, 大久保政雄¹⁾
同 病理診断科³⁾ 小林 克也¹⁾, 光井 洋¹⁾, 橋本 直明¹⁾
岸田由起子³⁾, 田村 浩一³⁾

67. 傍乳頭憩室症例での胆管挿入困難例に対する胆管内カニューレションの工夫

上尾中央総合病院 消化器内科 ○土屋 昭彦, 笹本 貴広, 三科 友二
西川 稿, 山中 正己

10 : 14~10 : 38 胆膵3 座長 千葉メディカルセンター 消化器内科 瀬座 勝志

68. IPMCに対する膵頭十二指腸切除術後の輸入脚進行性狭窄に対して経皮的生検にて膵癌再発を疑った一例

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○池田 重人¹⁾, 千葉 和郎¹⁾, 柴田 理美¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 田畑 拓久²⁾, 来間佐和子¹⁾, 大西 知子¹⁾
桑田 剛¹⁾, 藤原 純子²⁾, 藤原 崇¹⁾
荒川 丈夫²⁾, 門馬久美子²⁾, 菊山 正隆¹⁾
小泉 浩一¹⁾, 神澤 輝実¹⁾

69. 膵管空腸吻合部狭窄に対してシングルバルーン内視鏡下バルーン拡張術が有効であった1例

おおたかの森病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○安達 哲史¹⁾, 島田 紀朋¹⁾, 波多江 亮²⁾
同 外科²⁾ 佐々 政人²⁾, 田口 泰三²⁾

70. 腹腔鏡下試験開腹術で結核菌の同定された結核性腹膜炎の1例

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科¹⁾ ○有間 修平¹⁾, 宇野 昭毅²⁾, 遠渡 貴子³⁾
独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院 内視鏡センター²⁾ 藤井 徹朗³⁾, 堤 菜津子³⁾, 三浦 隆生⁴⁾
同 消化器肝臓内科³⁾ 藤川 博敏³⁾
日本大学病院 消化器肝臓内科⁴⁾

10:38~11:10 食道1 座長 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科/検診センター 中村 佳子

71. 内視鏡的切除を施行した食道扁平上皮癌に神経内分泌細胞癌を合併した1例

がん研有明病院 消化器内科 ○城間 翔, 堀内 裕介, 吉水 祥一
中野 薫, 山崎 明, 山口 和久
山本 安則, 石山晃世志, 由雄 敏之
平澤 俊明, 山本 頼正, 土田 知宏
藤崎 順子

72. 成人における先天性食道狭窄症に対するPOEMの経験

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○池田 晴夫, 角 一弥, 立田 哲也
池淵雄一郎, 大南 雅揮, 鬼丸 学
郷田 憲一, 伊藤 寛晃, 井上 晴洋

73. 頸部食道癌化学放射線治療後10年目に進行癌として再燃を認めた1例

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 ○竹内 優志, 中村理恵子, 福田 和正
須田 康一, 和田 則仁, 川久保博文
北川 雄光

74. 全身麻酔下十二指腸ESD術後に発生した縦郭上部膿瘍の一例

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科 ○武藤 靖英, 上里 昌也, 加賀谷暁子
天海 博之, 荒澤 孝裕, 玉地 智英
相川 瑞穂, 中野 明, 武藤 頼彦
松原 久裕

13:20~13:44 食道2 座長 東京大学医学部附属病院 消化器内科 坂口 賀基

75. バレット食道に発生したNET G2を伴う微小表在癌の1例

東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡科¹⁾ ○原 裕子¹⁾, 郷田 憲一³⁾, 古橋 広人¹⁾
同 病理学講座²⁾ 松井 寛昌¹⁾, 島本 奈々¹⁾, 樺 俊介¹⁾
昭和大学江東豊洲病院 消化器センター³⁾ 小林 雅邦¹⁾, 小野 真吾¹⁾, 炭山 和毅¹⁾
三石 雄大²⁾, 廣岡 信一²⁾, 池上 雅博²⁾

76. 食道壁内偽憩室症の2例

東海大学大磯病院 外科¹⁾ ○富奥 美藤¹⁾, 島田 英雄¹⁾, 西 隆之¹⁾
東海大学医学部 消化器外科²⁾ 陳 凌風¹⁾, 大宜見 崇¹⁾, 宮北 寛士¹⁾
中村 知己¹⁾, 田島 隆行¹⁾, 小熊 潤也¹⁾
小澤 壮治¹⁾

77. 粘膜下腫瘍様の形態を呈し、内視鏡的診断に苦慮した食道癌の一例

NHO栃木医療センター¹⁾ ○吉野 雄大¹⁾, 吉竹 直人¹⁾, 上原 慶太¹⁾
獨協医科大学 第一外科²⁾ 菊池真維子²⁾, 室井 大人²⁾, 中島 政信²⁾
加藤 広行²⁾

13 : 44~14 : 16 大腸1 座長 東海大学医学部付属東京病院 外科 中村 知己

78. 大腸内視鏡検査で生検診断しえたS状結腸子宮内膜症の1例

総合磐城共立病院 消化器内科 ○草野 昌男, 駒沢 大輔, 伊藤 広通
土佐 正規, 宇野 要, 池田 智之
高橋 成一, 池谷 伸一, 中山 晴夫

79. 術前予測が困難であったSM浸潤を伴うSSA/Pの一例

国立がん研究センター中央病院 消化管内視鏡科¹⁾ ○江郷 茉衣¹⁾, 市島 諒二¹⁾, 居軒 和也¹⁾
同 病理診断科²⁾ 高丸 博之¹⁾, 関口 正宇¹⁾, 山田 真善¹⁾
坂本 琢¹⁾, 中島 健¹⁾, 松田 尚久¹⁾
谷口 浩和¹⁾, 斎藤 豊¹⁾

80. 高齢発症潰瘍性大腸炎に合併した深部静脈血栓症に対して抗凝固療法、血栓溶解療法にて合併症なく治療し得た1例

水戸赤十字病院 内科 ○鈴木 考治, 竹内 哲, 北村 直人

81. 診断に苦慮した直腸MALTリンパ腫の1例

日本大学附属板橋病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○岩本 真帆¹⁾, 中本 將秀¹⁾, 入江 彰¹⁾
日本大学病院 消化器内科²⁾ 野村 舟三¹⁾, 矢ヶ部響子¹⁾, 香川 敦宜¹⁾
葉山 譲¹⁾, 春田 明子¹⁾, 永井晋太郎¹⁾
堀内 祐太¹⁾, 菊地 浩史¹⁾, 原澤 尚登¹⁾
今津 博雄¹⁾, 中島 典子¹⁾, 後藤田卓志²⁾
森山 光彦¹⁾

14 : 16~14 : 48 大腸2 座長 自治医科大学付属病院 消化器内科 竹澤 敬人

82. 胃がん検診における胃X線検査後にS状結腸穿孔をきたした1例

総合磐城共立病院 消化器内科 ○草野 昌男, 駒沢 大輔, 伊藤 広通
土佐 正規, 宇野 要, 池田 智之
高橋 成一, 池谷 伸一, 中山 晴夫

83. 早期肛門管扁平上皮癌と診断した病変に対してESDを施行した一例

翠明会山王病院 内科¹⁾ ○平野 達也¹⁾, 千代田亘弘¹⁾, 坂上 信行¹⁾
同 健康管理センター²⁾ 萩原壮一郎¹⁾, 谷嶋 隆之¹⁾, 三橋 修¹⁾
友野 寛樹¹⁾, 小林 茂雄²⁾

84. 粘膜下腫瘍様の形態を呈した微小な原発性大腸癌の一例

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○張 萌琳¹⁾, 関口 正宇^{1, 2)}, 首藤 龍人¹⁾
同 検診センター²⁾ 高丸 博之¹⁾, 山田 真善¹⁾, 中島 建¹⁾
同 病理診断科³⁾ 角川 康夫^{1, 2)}, 松田 尚久^{1, 2)}, 関根 茂樹³⁾
齋藤 豊¹⁾

85. 潰瘍性大腸炎を背景とした腫瘍に対してESDを施行した2例

順天堂大学 下部消化管外科 ○丹羽浩一郎, 雨宮 浩太, 土谷 祐樹
松澤 宏和, 茂木 俊介, 牧野有理香
河野 眞吾, 塚本 亮一, 市川 亮介
呉 一眞, 本庄 薫平, 盧 尚志
高橋 里奈, 石山 隼, 杉本 起一
神山 博彦, 高橋 玄, 小島 豊
五藤 倫敏, 富木 裕一, 坂本 一博

一般演題 6/11 (日) 第 4 会場

9:10~9:42 胃1 座長 順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 松本 紘平

86. 胃SMT様形態を示した胃Hamartomatous inverted polypの2例

がん研有明病院 消化器内科¹⁾ ○山本 安則¹⁾, 石山晃世志¹⁾, 中野 薫¹⁾
 同 消化器外科²⁾ 山崎 明¹⁾, 吉水 祥一¹⁾, 山口 和久¹⁾
 同 病理部³⁾ 堀内 祐介¹⁾, 由雄 敏之¹⁾, 平澤 俊明¹⁾
 さがみ外科胃腸科クリニック⁴⁾ 山本 頼正¹⁾, 土田 知宏¹⁾, 藤崎 順子¹⁾
 早期胃癌検診協会附属茅場町クリニック⁵⁾ 比企 直樹²⁾, 佐野 武²⁾, 河内 洋³⁾
 山本智理子³⁾, 佐上 俊和⁴⁾, 榊 信廣⁵⁾

87. 深達度診断に苦慮した粘膜下腫瘍様形態を呈する低分化型腺癌の一例

東京都がん検診センター 消化器内科¹⁾ ○水谷 勝¹⁾, 入口 陽介¹⁾, 小田 丈二¹⁾
 同 検査科²⁾ 高柳 聡¹⁾, 富野 泰弘¹⁾, 山里 哲郎¹⁾
 岸 大輔¹⁾, 大村 秀俊¹⁾, 藤田 直哉¹⁾
 清水 孝悦¹⁾, 霧生 信明¹⁾, 橋本真紀子¹⁾
 山村 彰彦²⁾

88. H.pylori(HP)未感染胃粘膜に発生した胃型形質を示す高分化管状腺癌の1例

新百合ヶ丘総合病院 消化器内科¹⁾ ○高野 幸司¹⁾, 牧山 裕顕¹⁾, 平山 雄一¹⁾
 順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学²⁾ 中田 高央¹⁾, 石井 成明¹⁾, 椎名 正明¹⁾
 袴田 拓¹⁾, 廣石 和正¹⁾, 國分 茂博¹⁾
 井廻 道夫¹⁾, 八尾 隆史²⁾

89. Helicobacter pylori 除菌と黒点についての検討

医療法人社団 新家クリニック ○新家 雄一

9:42~10:14 胃2 座長 日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 江崎 充

90. 血管性病変様の色調を呈した早期胃癌の一例

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 ○松本 紘平, 松本 健史, 赤澤 陽一
 小森 寛之, 竹田 努, 上山 浩也
 浅岡 大介, 北條麻理子, 渡辺 純夫

91. 門脈ガス血症を伴った気腫性胃炎の1例

東京女子医科大学 消化器内科¹⁾ ○小林亜也子¹⁾, 岸野真衣子²⁾, 久礼 里江¹⁾
 同 消化器内視鏡科²⁾ 日向有紀子¹⁾, 山本 浩隆¹⁾, 中村 真一²⁾
 徳重 克年¹⁾

92. 虫体摘出後も症状が遷延した再感染型胃アニサキス症の 1 例

シャローム病院 外科 ○小澤修太郎, 狩野 契, 鋤柄 稔

93. 非切除胃に発生した有茎性のGastritis cystica polyposaの 1 例

新東京病院 消化器内科 ○勝山 泰志, 原田 英明, 中原良太郎
村上 大輔, 清水 貴徳, 末廣 聡士
早坂 健司

10 : 14 ~ 11 : 02 胃3

座長 がん研究会有明病院 消化器外科 布部 創也

94. 急速に増大した胃粘膜下異所腺の1例

虎の門病院 消化器内科 ○田中 匡実, 布袋屋 修, 飯塚 敏郎
菊池 大輔, 福馬有美子, 野村 浩介
栗林 泰隆, 鳥羽 崇仁, 古畑 司
山下 聡, 松井 啓, 三谷 年史
貝瀬 満

95. 計10病変の胃粘膜内癌・胃腺腫に対しESDを施行し治癒し得た1例

獨協医科大学越谷病院 消化器内科 ○藤本 洋, 小堀 郁博, 北川 智之
大川 修, 草野 祐実, 林 和憲
徳富 治彦, 大浦 亮祐, 行徳 芳則
正岡 梨音, 片山 裕視, 玉野 正也

96. 幽門狭窄を呈する高齢者進行胃癌に対し十二指腸ステント留置術を施行した4例の検討

社会福祉法人あそか会 あそか病院 内科¹⁾ ○小熊 一豪¹⁾, 佐藤 雅³⁾, 久保 定徳²⁾
同 外科²⁾ 野津 史彦¹⁾, 白石 廣照²⁾, 矢野 剛司²⁾
昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 内科³⁾ 相原 成昭²⁾, 松川 正明¹⁾, 熊谷 一秀²⁾

97. 胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除 (LECS) 152例の治療成績

がん研有明病院 消化器外科¹⁾ ○津田 康雄¹⁾, 比企 直樹¹⁾, 井田 智¹⁾
同 消化器内科²⁾ 加納 陽介¹⁾, 庄司 佳晃¹⁾, 渡邊 元己¹⁾
昭和大学藤が丘病院 消化器内科³⁾ 徳永 竜馬¹⁾, 江藤弘二郎¹⁾, 安福 至¹⁾
辻浦 誠浩¹⁾, 奥村 康弘¹⁾, 熊谷 厚志¹⁾
大橋 学¹⁾, 布部 創也¹⁾, 平澤 俊明²⁾
山本 頼正³⁾, 藤崎 順子²⁾, 佐野 武¹⁾
山口 俊晴¹⁾

98. 当院における出血性胃潰瘍の再出血，手術症例の検討と潰瘍底に生じた胃仮性動脈瘤の1例

独立行政法人国立病院機構宇都宮病院 消化器内科¹ ○前田 光徳^{1, 4)}，増田 典弘²⁾，芳賀 紀裕²⁾
同 外科²⁾ 中村 哲也³⁾，平石 秀幸⁴⁾
獨協医科大学 医療情報センター³⁾
同 消化器内科⁴⁾

99. 非静脈瘤性の上部消化管出血における止血困難例の検討

東金九十九里地域医療センター東千葉メディカルセンター 消化器内科¹⁾ ○亀崎 秀宏¹⁾，今井 雄史¹⁾，坂本 大¹⁾
同 外科²⁾ 大山 広¹⁾，中川 宏治²⁾

11 : 02~11 : 34 十二指腸 座長 杏林大学医学部第三内科学教室 消化器内科 大野亜希子

100. 当院で経験した十二指腸ブルネル腺腫、ブルネル腺過形成の3例

東京女子医科大学病院 消化器内科¹⁾ ○日向有紀子¹⁾，山本 浩隆¹⁾，久礼 里江¹⁾
同 消化器内視鏡科²⁾ 小林亜也子¹⁾，岸野真衣子²⁾，中村 真一²⁾
徳重 克年¹⁾

101. 十二指腸乳頭部の神経内分泌腫瘍との鑑別が困難であったgangliocytic paragangliomaの一例

千葉メディカルセンター 消化器内科¹⁾ ○瀬座 勝志¹⁾，岩永 光巨¹⁾，大内 麻愉¹⁾
同 消化器外科²⁾ 長島 有輝¹⁾，丸田 享¹⁾，小泉 周子¹⁾
中村 奈海¹⁾，齊藤 昌也¹⁾，当間 智子²⁾
高石 聡²⁾，福田 吉宏¹⁾

102. 十二指腸腺腫に対して牽引クリップを用いてESDを施行した1例

上尾中央総合病院 消化器内科 ○三科 友二，外處 真道，山城 雄也
近藤 春彦，白井 告，三科 雅子
小林 倫子，明石 雅博，渡邊 東
笹本 貴広，土屋 昭彦，西川 稿
山中 正己

103. スニチニブ投与中に認めた小腸出血の1例

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 ○中山 哲雄，深井 泰守，星 恒輝
入江 江美，田中 寛人，山田 俊哉
富澤 琢，栗林 志行，水出 雅文
下山 康之，柿崎 暁，河村 修
草野 元康

13:20~13:44 小腸 座長 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 小野 真史

104. 造血幹細胞移植後に生じる腸管移植片対宿主病のカプセル内視鏡肉眼分類の妥当性

国立がん研究センター中央病院 ○居軒 和也, 角川 康夫, 高丸 博之
関口 正宇, 松田 尚久, 斎藤 豊

105. 内視鏡的バルーン拡張術が有効であったCEAS (Chronic Enteropathy Associated with SLCO2A1 gene) の一例

慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器) ¹⁾ ○堀江 知史¹⁾, 細江 直樹²⁾, 石川 景子¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 宮永 亮一¹⁾, 福原誠一郎¹⁾, 中里 圭宏¹⁾
同 予防医療センター³⁾ 尾城 啓輔¹⁾, 長沼 誠¹⁾, 岩男 泰³⁾
緒方 晴彦²⁾, 金井 隆典¹⁾

106. ダブルバルーン内視鏡が診断に有用であった出血性小腸GISTの一例

千葉労災病院 内科¹⁾ ○吉田 直樹¹⁾, 笹部真亜沙¹⁾, 粟津 雅美¹⁾
同 外科²⁾ 渡邊由美香¹⁾, 宮村 達雄¹⁾, 久我 明司¹⁾
榎谷 佳生¹⁾, 菰田 文武²⁾, 田中 武継¹⁾
草塩 公彦²⁾

13:44~14:24 大腸3 座長 東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡部 小田木 勲

107. ステロイド注腸が著効した放射線性腸炎の一例

独立行政法人国立病院機構東京医療センター ○木下 聡, 高林 馨, 平井悠一郎
窪澤 陽子, 砂田由紀恵, 阿部圭一朗
高田 祐明, 平田 哲, 高取 祐作
伴野 繁雄, 和田 道子, 森 英毅
菊池 美穂, 加藤 元彦, 菊池 真大
浦岡 俊夫

108. 大腸ポリプ経過観察中に見つかった大腸アニサキス症の1例

東海大学医学部付属病院 消化器内科 ○新間 淑雅, 中原 史雄, 水上 創
澤本 佳奈, 内田 哲史, 五十嵐宗喜
小池 潤, 松嶋 成志, 峯 徹哉

109. 直腸MALTリンパ腫の2例

公立昭和病院 消化器内科¹⁾ ○勝田 景統¹⁾, 浦牛原幸治²⁾, 西成田 悠¹⁾
 同 内視鏡科²⁾ 大野 一将²⁾, 鈴木 祥子²⁾, 細川 貴範¹⁾
 同 予防・健診科³⁾ 山地 統¹⁾, 小島 茂¹⁾, 小野 圭一¹⁾
 同 病理診断科⁴⁾ 武田 雄一²⁾, 野内 俊彦¹⁾, 川口 淳³⁾
 同 外科⁵⁾ 清水誠一郎⁴⁾, 小林 薫⁵⁾, 上西 紀夫⁵⁾
 東京医科歯科大学 消化器内科⁶⁾ 渡辺 守⁶⁾

110. 腸間膜静脈・脾静脈閉塞による大腸潰瘍に対して抗凝固療法が有効であった1例

湘南藤沢徳洲会病院 消化器内科¹⁾ ○森山 友章¹⁾, 清水 実¹⁾, 長主 直子²⁾
 湘南鎌倉クリニック²⁾

111. 大腸EMR後、IPR (Incomplete Polyp Resection)例での局所再発率の検討

横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 ○有本 純, 日暮 琢磨, 冬木 晶子
 大久保秀則, 野中 敬, 中島 淳

14 : 24~15 : 04 大腸4

座長 水戸赤十字病院 内科 鈴木 考治

112. 高周波止血鉗子で止血に成功した大腸憩室出血の2例

千葉西総合病院 消化器内科¹⁾ ○梅木 清孝¹⁾, 佐藤晋一郎¹⁾, 保坂 祥介¹⁾
 同 外科²⁾ 若杉 聡¹⁾, 小林 亮介²⁾, 緒方 賢司²⁾

113. PTP誤飲で血便を来した1例

日本医科大学 多摩永山病院¹⁾ ○高木 信介¹⁾, 山下 貴正¹⁾, 佐藤 航¹⁾
 日本医科大学附属病院²⁾ 馬來康太郎¹⁾, 新福 摩弓¹⁾, 名見耶浩幸¹⁾
 津久井 拓¹⁾, 岩切 勝彦²⁾

114. S状結腸に滞留したPress through pack (PTP)シートをダブルバルーン内視鏡 (DBE) 内に引き込んで安全に回収しえた一例

自治医科大学附属病院 消化器内科 ○小林 泰俊, 矢野 智則, 坂本 博次
 長井 洋樹, 馬込 省吾, 岡田 昌浩
 福田 久, 高橋 治夫, 井野 裕治
 竹澤 敬人, 三浦 義正, 林 芳和
 砂田圭二郎, 大澤 博之, 山本 博徳

115. リンパ節転移を認めた直腸カルチノイドの1例

東海大学医学部付属大磯病院 ○大宜見 崇, 宮北 寛士, 陳 凌風
 富奥 美藤, 田島 隆行, 西 隆之
 島田 英雄

116. 異所性胃粘膜を伴った回盲部消化管重複症の一切除例

順天堂大学浦安病院 消化器内科¹⁾ ○磯野 峻輔¹⁾, 北沢 尚子¹⁾, 長田 太郎¹⁾
順天堂大学医学部浦安病院 病理科²⁾ 富田 茂樹²⁾, 渡辺 純夫³⁾
順天堂医院 消化器内科³⁾

第105回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 ご案内と演題募集のお知らせ

会 長：木田 光広（北里大学医学部消化器内科学 教授（北里大学メディカルセンター））

会 期：平成 29 年 12 月 9 日（土）・10 日（日）

会 場：シェンバツハ・サポー（〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5）

テーマ：基本から応用へ、そして世界へ

From Basic to Advanced technique, and Internationalization

主題および一般演題（口演： 公募）

消化器内視鏡に関する演題を広く募集いたします。

応募は「本学会および他の学会で未発表」で、「倫理規定に抵触しない」演題に限ります。

口演は全てコンピュータープレゼンテーションです。

演者数については、主題：5名以内、一般演題、研修医セッション、専修医セッション：21名以内として下さい。

※演題発表時に研修医（初期研修医）および専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演題を選出し表彰致します。受賞者には賞状と奨励金として3万円を贈呈致します。また、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します）。奮ってご応募下さい。演題登録の際、「講演形態」選択肢欄の『研修医』、『専修医』を選択し、登録して下さい。

シンポジウム 1

「胆膵内視鏡－日常臨床における ERCP・EUS の役割と将来展望－」

司会 北里大学医学部 消化器内科学 今泉 弘
埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢 昭銘

胆膵疾患の診断において侵襲の少ない AUS、CT、MRI の果たす役割は大きい。一方 ERCP はやや侵襲的な検査であるが膵管胆管の直接造影画像より詳細な画像診断が可能であるだけでなく細胞診、生検、IDUS などによる精査を行うことができる。また膵管・胆管鏡なども疾患によっては不可欠な検査法といえる。また EUS はその解像度の高さにより小病変の描出率も高く、EUS-FNA による膵腫瘍や腫大リンパ節などの質的診断では優れた成績が得られている。さらに採石術やドレナージ術などの低侵襲治療を行うにあたり ERCP や EUS 関連手技は重要なモダリティとなっている。

本シンポジウムでは、広く ERCP、EUS の胆膵疾患における各施設の診断・治療成績について報告していただきたい。また両者によるランデブーテクニックなどを用いた治療成績や手技の工夫などの報告も期待している。ERCP、EUS の診断・治療におけるそれぞれの特徴や使い分けなどについて討論できればと考えている。また各手技の将来性について活発な討議もお願いしたい。多くのご施設からの演題を期待する。

シンポジウム 2

「上部内視鏡－日常臨床における画像強調内視鏡・拡大内視鏡の役割と将来展望－」

司会 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋
東京慈恵会医科大学 内視鏡科 炭山 和毅

従来の色素内視鏡に加え、NBI や BLI/LCI、i-scan 等の画像強調技術を併用した拡大内視鏡は腫瘍・非腫瘍の鑑別や範囲診断、さらに食道、大腸病変では深達度診断にも汎用され、内視鏡治療の適応を決定する上で必要不可欠な存在となっている。また、扁平上皮癌に対しては、画像強調観察による病変の拾い上げの有用性が、頭頸部領域も含め広く理解されている。一方、日常診療のなかで高額な拡大内視鏡を用い、常に詳細な観察を行うことは容易ではない。本邦では社会の高齢化が進み、消化器癌のスクリーニングやサーベイランスに対する社会的ニーズが増している。今後は、検査の質とともに量を充足させることができる高精度かつ効率的な検査方法の確立が望まれる。

そこで本シンポジウムでは、日常診療における画像強調観察や拡大内視鏡の活用方法について、診断アルゴリズムや教育さらには画像解析方法も含む技術開発まで広く演題を募集する。特に、忙しい日常診療の合間に内視鏡を行なっているクリニックでの試みや工夫についても、多くの演題を期待する。

シンポジウム 3

「上部内視鏡検診の現状と問題点」

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学分野 河合 隆
東京都がん検診センター 消化器内科 入口 陽介

近年、対策型胃がん検診では、X線検診に加えて内視鏡検診にも有効性が認められ、対象は50歳以上で隔年検診とされた。対策型の検診においては、症状のない受診者に、どこで受けても安全で一定の精度以上の検診を提供する必要があることから、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」が刊行され、厚労省の事業評価のためのチェックリストにも盛り込まれている。現在、内視鏡検診の導入を検討している自治体は多く存在するが、地域における内視鏡医のマンパワーの問題、精度管理や安全管理の課題のため導入には慎重な自治体も多い。自治体へのヒアリング（人口10万以上282自治体）では、導入済22%、導入予定17%とわずかである。検査機関・検査医の選定をはじめ、消毒まで含めた安全対策、また検査医のレベルの向上・維持、診断率の向上のための取り組み、検査の標準化・精度管理があげられる。精度管理のポイントになるダブルチェックであるが、専門医の少ない地域では導入が難しく、検査医へのフィードバックなど多くの課題がある。内視鏡の選択として、経口・経鼻・sedation いずれにするか、さらに対象者の集約化や検診間隔の延長も検討されている。今後、各自自治体・医師会、学会がどのように協力すれば、住民に対して安全かつ効率的な内視鏡胃癌検診を行えるかをさまざまな角度から議論したいと考えている。多くの応募を期待する。

シンポジウム 4

「下部内視鏡－日常臨床における画像強調内視鏡・拡大内視鏡の役割と将来展望－」

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 小林 清典
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 斎藤 豊

内視鏡観察は従来法の白色光観察の時代から、Image-enhanced Endoscopy (IEE)/Advanced Diagnostic Endoscopy (ADE)の時代へと大きく進化している。丹羽、田尻らにより、この IEE は、白色光、画像強調観察（光学法、デジタル法、光デジタル法、色素法）、拡大内視鏡観察（光学法、デジタル法）、顕微内視鏡観察（光学系、共焦点系）、断層イメージング（OCT:Optical Coherence Tomography、超音波内視鏡）と大きく分類されている。画像強調観察・拡大内視鏡観察は日常臨床ですでに一般化されている観察法であり、①病変の拾い上げ ②腫瘍・非腫瘍の鑑別 ③癌の深達度診断 ④炎症性疾患の診断など多岐にわたり、新たな工夫や最新の知見など多くの演題を期待したい。また顕微内視鏡観察や断層イメージングなど、一部薬事未承認機器も含めた将来展望に関する発表も歓迎する。発表の中では、白色光観察に加え IEE が、下部消化管疾患の診断にどのように付加価値を与えることが可能かを明確にしていれば幸いである。

パネルディスカッション 1

「消化管ステントの進歩」

司会 東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科 前谷 容
がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科 小泉 浩一

Self-expandable metallic stent (SEMS)の進歩によって、現在は小腸以外の消化管に発生した悪性閉塞に対してステント留置が容易に行えるようになった。対象患者にとっては大きな福音であり、低侵襲的治療として緩和的使用のみならず、大腸などでは術前減圧としても大きな役割を果たしている。しかし手技がほぼ確立した一方で、現在ステント留置に伴う様々な課題が生じている。例えば、化学放射線療法受療者における食道ステントの是非、胃十二指腸閉塞に対するバイパス術や、大腸閉塞に対する人工肛門造設術といった姑息的手術との使い分け、切除可能大腸癌における術前ステント術の妥当性等といった種々の問題が提起されている。今後この分野の発展にはこのような課題に対する回答となるような研究が不可欠である。

本セッションでは、本手技の有用性だけでなく、このようなクリニカルクエストに示唆を与えるような発表を特に希望したい。原則として現在保険収載となっている悪性狭窄を対象とした発表を募集するが、適切な手順を踏んだ臨床治験等の研究であれば一部良性狭窄に対する演題も応募頂きたい。消化管ステント進歩の現状確認と今後の発展のための課題克服への一助となるようなセッションとしたいと考えている。

パネルディスカッション 2

「経乳頭的胆道ドレナージ・EUS-BD の進歩」

司会 千葉県がんセンター 消化器内科 山口 武人
順天堂大学医学部 消化器内科 伊佐山浩通

内視鏡的胆道ドレナージには、経乳頭的ドレナージと EUS-guided biliary drainage (EUS-BD) の両方があり、双方ともに日進月歩である。悪性胆道閉塞に対する経乳頭的な胆道ドレナージは、標準的な手技ではあるが病態によって治療法が異なる。術前・非切除、肝門部・中下部のそれぞれの病態に合わせた治療戦略、ステント選択について広く演題を募集し、最近の進歩、最適な治療法についてディスカッションを行いたい。新しいステントの評価やトラブルシューティングの進歩に関しても演題応募を期待している。EUS-BD は既に日常臨床として施行している施設から、導入初期、或いは導入を考えている施設まで幅広い状況が存在する。手技全体としての進歩についてはもちろんだが、今回はそれぞれの御施設の経験から本手技の進歩につながりそうな話題を広く演題を募集したい。原疾患に関しても悪性に限らないが、手技としては胆管に対するドレナージのみとしたい。胆道ドレナージは患者の状態を改善する手技であるが、患者全体の状況を考えないと最大の効果は発揮できない。本セッションを通じて、患者の病態に応じた治療戦略が提案できれば幸いである。

パネルディスカッション 3

「術後腸管患者に対する胆膵内視鏡の進歩」

司会 自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 山本 博徳
横浜市立大学附属病院 内視鏡センター 窪田 賢輔

本セッションでは、ますますニーズと適応が拡大している術後腸管に対する胆膵内視鏡診療について取り上げる。内視鏡も本邦で開発されたバルーン内視鏡 (Single/Double) がある。かつて術後腸管の適応症例は、せいぜい B-II、Roux-en-Y 症例程度であった。最近では、膵頭十二指腸切除後、拡大肝切除などの胆管、膵管狭窄、さらに吻合腸管狭窄も適応となり、超音波内視鏡を併用した Rendez-Vous 法も行われるようになった。手技成功率も、先端施設においては 90% に迫る成績が報告されている。しかし一方では、消化管穿孔や出血、ガス塞栓症 (CO2 送気でも報告あり) などの偶発症も起こりうるので注意が必要である。

本手技は今では市中病院においても要求される時代となっている。高度先進施設から、一般市中病院の先生に至るまで、術後腸管に対する胆膵内視鏡治療の現状について演題を多数頂ければ幸いである。

ビデオワークショップ 1

「下部 ESD—治療法の工夫・トラブルシューティング—」

司会 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門 矢作 直久
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

大腸 ESD は 2012 年の保険収載後、多くの施設で施行されるようになった。その一方、強い線維化病変、筋層の拳上を伴う隆起性病変、強い屈曲部の病変、虫垂開口部内や憩室内あるいは近傍の病変等に対する治療法や、出血や穿孔に代表される偶発症の予防や対策に関して解決すべき問題点が多く存在している。そこで本ビデオワークショップでは、治療困難例に対し有用であった治療法の工夫や、合併症に対するトラブルシューティングに関して、既存手技の有用性のみならず、1 例報告を含めた新たな手技を提示いただき、参加者と共有し今後の診療に生かしていきたいと考えている。

若い先生から多数の大腸 ESD の経験している先生まで多くの演題を期待したい。

ビデオワークショップ 2

「胆膵内視鏡—治療法の工夫・トラブルシューティング—」

司会 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 安田 一朗
群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 水出 雅文

日常診療における胆膵疾患の診断・治療には、多岐にわたる胆膵内視鏡手技が必要とされる。しかし、ERCP/EUS 関連手技を含めた胆膵内視鏡の実際では、困難症例や手技中のトラブルに遭遇することを時に経験する。そして、これら手技の困難やトラブルは、内視鏡の挿入操作、胆管膵管への選択的挿管、各種乳頭処置 (EST/EPBD/EPLBD etc)、ステンティング、結石除去、EUS-FNA、EUS 下ドレナージ (EUS-CD/EUS-BD/EUS-PD etc) など様々な場面において起こりうるものである。「より安全に、より質の高い胆膵内視鏡」を追求すべく、様々な状況における困難克服への工夫や遭遇したトラブルへの対処を各施設で経験されているものと思われる。

本セッションでは、安全かつ質の高い胆膵内視鏡を目指して取り組んでいる各施設の治療法の工夫や経験したトラブル対処法を動画にて供覧していただきたい。胆膵内視鏡における引き出しを増やすことは重要であり、1 例報告も歓迎する。胆膵内視鏡に携わるものとして貴重な情報を共有し、日々の診療の一助になる機会としたい。多くの施設からの応募を期待する。

ビデオワークショップ 3

「上部 ESD—治療法の工夫・トラブルシューティング—」

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 田邊 聡
がん研究会 有明病院 消化器内科 藤崎 順子

上部消化管（食道・胃・十二指腸）腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の進歩、普及には目をみはるものがある。特に、食道及び胃については一般の施設においても広く施行されているが、治療手技、偶発症マネジメントの観点からは未だに解決されていない課題も存在する。食道については、術中・術後の穿孔、高度な線維化による剥離困難、広範切除による狭窄などが問題となる。胃については、抗血栓療法継続下の患者で、特に胃体部での術中止血に難渋する局面を経験する。また、穹窿部では穿孔の危険性が高く、穿孔部の閉鎖に苦慮した報告もみられる。亜全周に近い病変の術後狭窄や機能障害など、従来の内視鏡的粘膜切除術（EMR）ではみられない病態にも遭遇する。一方、十二指腸については、術中穿孔の危険性に加えて遅発穿孔といった大きな問題がある。十二指腸においては穿孔後の手術移行率も他臓器に比べて著しく高い。

このように各臓器に特徴的な偶発症、あるいは出血・穿孔などの共通した偶発症などに対して、各施設で様々な工夫が行われている。

本シンポジウムでは、上部消化管 ESD における偶発症、あるいは治療困難な局面に対する trouble shooting について動画を交えてご提示いただき、今後の診療に生かしていきたいと考えている。少数の経験、症例報告も大歓迎であり、将来の標準化に向けた第一歩として多数の演題応募を希望する。

特別講演

「世界的視野からみた消化器内視鏡学の展望」(仮題)

一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 理事長

東京慈恵会医科大学先進内視鏡治療研究講座 田尻 久雄

症例検討セッション

「食道」

司会 がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科 門馬久美子
虎の門病院 消化器内科 飯塚 敏郎

「胆膵」

司会 東京医科大学 消化器内科 糸井 隆夫
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 岡野 直樹

「上部消化管」

司会 日本大学医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野 後藤田卓志
東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 藤城 光弘

「下部消化管」

司会 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 緒方 晴彦
東京医科歯科大学 消化器内科 大塚 和朗

ハンズオントレーニングセッション

「上部 ESD」

司会 NTT東日本関東病院 内視鏡部 大園 研

「胆膵 EUS-FNA」

司会 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科 松田 浩二

「下部挿入法」

司会 東海大学医学部附属東京病院 消化器内科 鈴木 孝良

演題募集期間：平成 29 年 6 月 7 日（水）～ 8 月 30 日（水）

オンライン（UMIN）による申込みのみにて募集いたします。

詳しい演題募集要項は関東支部会ホームページ（<http://www.jges-k.umin.jp/>）
をご参照下さい。

※郵送、E-mail による演題の受付はいたしません。

注 意 事 項：抄録作成に際しては「消化器内視鏡用語集」を参照し、適切な用語を用いて下さい。（適切な用語を用いることは発表者の責務になります。）

事 務 局：北里大学医学部 消化器内科学

事務局長 今泉 弘

〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

演題登録に関してのご質問・お問い合わせ先：

第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会運営事務局

株式会社プランニングウィル内

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 6F

Tel: 03-6801-8084 Fax: 03-6801-8094

E-mail: 105kanto-jges@pw-co.jp

第34回 日本消化器内視鏡学会 関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第34回日本消化器内視鏡学会関東セミナー受講申し込みは、定員になりましたため締め切りました。
たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

会 長：平石 秀幸 (獨協医科大学 消化器内科)
会 期：平成29年7月23日(日)
会 場：シェーンバッハ・サボー
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
TEL：03-3261-8390

テーマ：内視鏡診療のFront Line

【受付に関するお問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会 関東セミナー受付係
株式会社コンベンションアカデミア内
担当：丹沢、鵜田(ときた)
〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4階
TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028
E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関するお問い合わせ先】

第34回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局
株式会社サンプラネット メディカルコンベンション事業部
担当：高橋 誠一
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6階
TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396
E-mail：jgesk34@sunpla-mcv.com

第 34 回日本消化器内視鏡学会 関東セミナープログラム (敬称略)

8 : 55	開講式	会長：平石 秀幸 (獨協医科大学 消化器内科)	
9:00～ 9:45	咽頭食道疾患の診断	大森 泰 (川崎市立井田病院 内視鏡センター)	河村 修 (群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部)
9 : 45～ 10 : 30	早期胃癌の診断	藤崎 順子 (公益財団法人がん研有明病院 消化器内科)	岩本 淳一 (東京医科大学 茨城医療センター 内科 (消化器))
10 : 30	休憩		
10 : 40～ 11 : 25	早期胃癌の内視鏡治療	小田 一郎 (国立がん研究センター 中央病院 内視鏡科)	岡 政志 (埼玉医科大学 総合医療センター 消化器・肝臓内科)
11 : 25～ 12 : 10	消化管病理の基礎知識 一胃の Group 分類を中心に	三上 哲夫 (東邦大学医学部 病理学講座)	田邊 聡 (北里大学 新世紀医療開発センター 低侵襲光学治療学)
12 : 10	休憩		
12 : 25～ 13 : 10	<ランチョンセミナー> Mucosal healing は本当に IBD の治療目 標か？	加藤 順 (和歌山県立医科大学第二内科)	河合 隆 (東京医科大学消化器内視鏡学)
13 : 10	休憩		
13 : 20～ 14 : 05	小腸疾患の診断	大宮 直木 (藤田保健衛生大学 消化管内科)	砂田 圭二郎 (自治医科大学 消化器内科)
14 : 05～ 14 : 50	炎症性腸疾患の診断	大塚 和朗 (東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部)	竹内 健 (東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器内科)
14 : 50	休憩		
15 : 00～ 15 : 45	大腸腫瘍の内視鏡診断と治療	斎藤 豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)	藤城 光弘 (東京大学医学部附属病院 光学医療診療部)
15 : 45～ 16 : 30	膵疾患の内視鏡診断	入澤 篤志 (福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座)	玉野 正也 (獨協医科大学越谷病院 消化器内科)
16 : 30～ 17 : 00	JED プロジェクト 一新専門医制度の概要も含めて	田中 聖人 (京都第二赤十字病院 消化器内科/医療情報室)	松田 尚久 (国立がん研究センター中央病院 検診センター/内視鏡科)
17 : 00	閉講式・受講証受与		

【プログラム委員】(敬称略, 50 音順)

岩本淳一、岡 政志、河合 隆、河村 修、砂田圭二郎、竹内 健、田邊 聡、藤城光弘、松田尚久

第 35 回 日本消化器内視鏡学会関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第 35 回日本消化器内視鏡学会関東セミナーを下記の要領で開催いたします。

支部セミナーの受講は専門医の申請および更新に際して、必須となっておりますのでご留意下さい。

多数の方のご参加をお待ちしております。

会 長：川口 淳 (公立昭和病院 予防・健診科)

会 期：平成 30 年 1 月 21 日 (日)

会 場：東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1 03-5530-1111 (代)

定 員：1,100 名 (一部はサテライト会場になります。)

対 象 者：日本消化器内視鏡学会専門医、希望する会員・その他

受 講 料：日本消化器内視鏡学会会員 10,000 円 非会員 15,000 円

受講料の払い込み方法は、仮登録の自動返信メールにてご連絡申し上げます。

受講料振込をもって登録完了とさせていただきます。

原則、お振り込み頂いた受講料は返金できません。

受講セミナーを他支部より変更されて受講される場合も、受講料の振替はできませんのでご注意ください。

応募要領：応募受付は、平成 29 年 8 月 9 日正午より開始いたします。

先着順に受講者を決定いたします。

受講希望者は日本消化器内視鏡学会ホームページの Web 登録フォームよりお申し込み下さい。

【応募受付に関するお問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会 関東セミナー受付係

株式会社コンベンションアカデミア内

担当：丹沢、鶴田 (ときた)

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階

TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028

E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関する問い合わせ先】

第 35 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局

株式会社サンプラネット メディカルコンベンション事業部

担当：高橋 誠一

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6 階

TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396

E-mail：jgesk35@sunpla-mcv.com

日本消化器内視鏡学会関東支部機関誌 『Progress of Digestive Endoscopy』について

ご購読のお願い

Progress of Digestive Endoscopy は日本消化器内視鏡学会関東支部の機関誌であり、関東支部例会予報集および論文集を年2冊ずつ発行しております。会則等の関係から関東支部全会員にご購読頂くことが実現できず、現在は有志の方にご購読頂いております。

論文集は関東支部例会の研修医、専修医、一般演題の発表を中心に論文が収載され、消化器内視鏡を志す若手の登竜門となっております。

関東支部の各分野を代表する編集委員、査読委員が査読を行い、さらなる質の向上に取り組んでおりますので、ご購読下さるようお願い申し上げます。

本誌は J-STAGE に登録されており、全国の先生方が掲載論文を閲覧できます（雑誌発行後1年間の本文閲覧は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られます）。

なお、本誌購読は関東支部評議員の選出条件の1つになっています。

お申し込みは関東支部のホームページ(<http://www.jges-k.umin.jp/>)をご参照下さい。

関東支部以外の会員も購読可能ですので、多くの方のお申し込みをお待ちしております。

【購読申込に関する問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会関東支部 庶務係 西野

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

TEL 03-3542-2511 (内線 2018) FAX 03-3542-3815

Email : jgeskanto@nifty.com

論文投稿について

Progress of Digestive Endoscopy は投稿論文を随時受け付けております（論文の採否は編集委員会にて決定致します。）。

投稿はオンライン投稿となります。投稿に先立ち、必要書類を関東支部ホームページの「Progress of Digestive Endoscopy」の「投稿規定」のページよりダウンロードしてお使い下さい。投稿は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られますのでご留意下さい。

なお、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医の申請・更新の実績ポイントとして本誌は筆頭で5点、共著で2点が取得できます。

【論文投稿に関する問い合わせ先】

株式会社協和企画 メディカルコミュニケーション本部 『Progress of Digestive Endoscopy』係

〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5 日土地虎ノ門ビル

TEL 03-6838-9221 Email: pde@kk-kyowa.co.jp